

令和 4 年度

主な事務事業調

令和4年度 主な事務事業調

No. 1

事業名	情報化推進事業費（うち、議会公用タブレット端末導入分）					
費目	款	議会費	項	議会費	目	議会費
事業費	4,850 千円			予算書	112 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>舞鶴市議会基本条例（平成30年制定）に基づき、本会議での配信映像資料の活用や委員会の映像配信など、議会の「見える化」の推進をはじめ、議会機能の向上を目的として議会活性化を進めている。</p> <p>その取組の一つとして、「効率的・効果的な議会運営」を目的とするICT化に取り組むため、新型コロナウイルス感染症のまん延等により参集が困難となった場合などにおけるオンライン委員会・完全ペーパーレス化などを進め、セキュリティの強化を図る。</p>
事業の内容	<p>○議会公用タブレット端末の導入 タブレット（10.2インチ・Wi-Fiモデル） 議員25台+事務局3台</p> <p>モバイルデバイス管理ソフト（MDM）</p> <p>《参考》 令和3年6月 舞鶴市議会委員会条例の一部改正 （オンライン委員会を可能とする。） 令和3年 オンライン委員会6回開催・視察14回実施</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	4,850	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	議会事務局総務課	課長名	樋口 佐由理	内線番号	1411
-----	----------	-----	--------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 2

事業名	シティブランディング戦略事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	7,500 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>舞鶴市SDGs未来都市としての取組を効果的に発信し、SDGsの理解促進を図るとともに、戦略的広報チームと市民で構成する「シティブランディングプロジェクト」による「舞鶴のまちを内側から元気にし、まちへの誇りや愛着を持ってもらう」ための活動を継続する。また、令和3年度に決定したキャッチコピー・ロゴマークを活用し、舞鶴が持つ文化・歴史、観光等の資源や質の高い教育、子育て環境の整備等の施策、SDGsの先進的な取組などを市のブランドイメージとして確立させ、市内外に発信することで、シビックプライドのさらなる醸成と地域活性化につなげる。</p>					
	事業の内容	<p>【舞鶴市SDGs未来都市の戦略的広報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs理解促進のための啓発イベント (参考) 令和2年度 芸人による小学生向け出前授業 令和3年度 SDGsを題材にした吉本新喜劇の開催 <p>【シティブランディングプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ズルいい！大辞典」作成 ・キャッチコピー及びロゴマーク啓発物作製 ・既存イベントを活用したPR活動 ・プロジェクトの活動をまちづくりに関心のある市民へ拡大 				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	1,820	地方創生推進交付金(1/2)	68		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	2,100	ふるさと応援寄附金	96		
	一般財源	3,580				
担当課	広報広聴	課	課長名	三輪 紀子	内線番号	1316

令和4年度 主な事務事業調

No. 3

事業名	スマート窓口推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	7,000 千円			予 算 書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>窓口手続きのデジタル化やマイナンバーカードの活用により、市民の利便性向上を図る。</p>
事業の内容	<p>1 各種証明書自動発行サービス運用管理経費 3,818千円</p> <p>マイナンバーカードを使って、住民票の写しや税の証明書等を簡単に取得できるサービスを提供（本庁・西支所）</p> <p>2 窓口支援システム運用管理経費 3,182千円</p> <p>転出入やおくやみ等の一連の手続きの際に、何度も住所や氏名を書かなくて済むシステムを運用（本庁・西支所）</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	2,277	雑入(自動発行サービス設置者委託手数料)	108
	一般財源	4,723		

担当課	人事課 市民税務課	課長名	山本 仁志 (改革推進担当) 浜本 知子 日下部 亘	内線 番号	1390 1120 1280
-----	--------------	-----	-------------------------------------	----------	----------------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 4

事業名	DX推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	31,500 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>国において策定された「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に基づき、自治体が重点的に取り組むべき事項である「行政手続のオンライン化」を推進することで、デジタル化による利便性を早期に享受できる仕組みを構築する。</p> <p>また、行政サービスにおけるデジタル技術やデータ活用の推進など、本市におけるDXに関する基本的事項を定めた「舞鶴市DX推進計画」（令和4年3月策定予定）に基づき、誰もが便利で心豊かな田舎暮らしを実感することのできるDXの実現に向けた行動計画を策定する。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○マイナポータルびったりサービスからのオンライン手続きの導入 国が推奨する行政手続きについて、マイナポータルびったりサービスからオンライン手続きを可能にするとともに、自治体の基幹システムと連携できるよう改修を行う。 ○マイナポータル以外の電子申請サービスの導入 上記以外の手続きについて、利便性の向上を図る観点から電子決済サービスが利用可能な電子申請サービスを導入する。 ○舞鶴市DX推進計画 行動計画（アクションプラン）の策定 計画期間：令和5年度～令和8年度 ワーキング会議の設置（年6回） ○DX研修会の開催（全職員対象）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	16,809	デジタル基盤改革支援補助金(1/2)、 新型コロナウイルス感染対応地方創生臨時 交付金(定額)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		14,691		

担当課	デジタル推進 課	課長名	吉崎 豊	内線 番号	2610
-----	----------	-----	------	----------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 5

事業名	行財政改革推進経費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	750 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>行政サービスや市役所運営が将来にわたって持続可能であり続けるための行財政改革を推進する。 その一環として、データを活用した効果的・効率的な事業展開や行政運営を推進する。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○データ分析能力の向上 データ活用を推進し、分析能力の向上を図るための研修を実施 ○データ分析ツールの活用 データベースを可視化し、分析・評価するためのツールを活用

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	375	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	375		

担当課	人事 デジタル推進	課	課長名	山本 仁志 (改革推進担当) 吉崎 豊	内線 番号	1390 2610
-----	--------------	---	-----	---------------------------	----------	--------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 6

事業名	地元再発見「ふるさと舞鶴」地域学推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	地域づくり推進費
事業費	1,520 千円			予算書	116 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>本市が誇る歴史文化をまちの「タカラモノ」として共有するためのツールとして作成した地図アプリ「京都舞鶴まち探検マップ」を活用し、公民館講座やまちあるきイベント等を実施するとともに、小・中学校のふるさと学習等でも活用することで、地元の知られざる魅力への気づきや、新たな地域資源の掘り起こしを行い、多くの市民がまちへの誇りと愛着心を持つことのできる魅力あるまちづくりを目指す。</p>
事業の内容	<p>(1) 地域学講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史、自然、風俗、まちあるき等テーマごとに講義を構成。 ・まなびあむと各公民館をオンラインでつなぎ、他地域との交流を行う。 <p>(2) 小・中学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の「GIGAスクール構想」のもとで導入したタブレットやネットワークを活かし、教科等で地図アプリを活用 ・社会科副読本「わたしたちのまち舞鶴市」と連携した学習教材用動画の作成 など

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	700	きょうと地域連携交付金(1/2)	80
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	820		

担当課	広報文化観光振興課 地域づくり支援 地域文化振興 観光振興 学校教 文化振興 観光振興 文化振興 文化振興	課	課長名	三輪 紀子 飯田 徹 木下 尚子 山内 勇輔 山下 美晴 森下 敏宏	内線番号	1316 1225 1230 1261 1260 2430
-----	---	---	-----	---	------	--

事業名	多世代交流による地域づくり推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	5,450 千円			予算書	116 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	地域社会を取り巻く環境は大きく変化しており、人の繋がりが希薄になり、孤立化、地域の担い手不足といった地域課題が新たに生まれている。これら課題に対応するため、多世代交流施設「まなびあむ」を中心に様々な世代が集い交流する中で、次世代の地域の担い手づくりを目的とした事業を展開する。			
	事業の内容	1. 多様な交流促進の場の創出 ・京都市立芸術大学と連携した「さわる!“触”の大博覧会 舞鶴版」を実施（視覚障害者と健常者がともに楽しめる展覧会）		
財源内訳		2. 幅広い世代の交流促進事業 ・まなぶシリーズとして現役世代の目線に立った実践的学習を目指した講座を開設 ・子育て交流施設「あそびあむ」と連携した多世代交流事業 ・現役世代が地域と関わるきっかけ作りとなる事業 ・健やか体操教室		
	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
国支出金	-			
府支出金	1,800	きょうと地域連携交付金(1/2)		80
地方債	-			
その他	1,800	雑入(講座等参加料)		108
一般財源	1,850			
担当課	地域づくり支援課	課長名	飯田 徹	内線番号 1225

令和4年度 主な事務事業調

No. 8

事業名	市民文化クリエイティブ事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費	5,100 千円			予算書	118 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>令和5年度の市制施行80周年記念事業に向けた事業を行う。 文化活動を積極的に行う市民と市が一緒になって、市初の取組である『市民オペラ』を実施する。 この取組を通じて舞鶴だからこそできること、小さなことから失敗を恐れずチャレンジし、新たな価値を生み出すアクティブな文化の担い手の育成を目指すとともに、市制施行80周年記念事業に向けた機運の醸成を図る。</p>					
	事業の内容	<p>(1) 市制施行80周年記念事業に向けたプレ事業『市民オペラ』 活発に文化活動を行う市民の企画・運営により、子どもから大人まで、障害を持つ人たちも協働で、合唱だけではなく他分野も取り込んで、市民主体の『市民オペラ』を作り上げる。</p> <p>(2) 市制施行80周年記念事業『第九演奏会』市民合唱団結成準備 『市民オペラ』に携わった人材を中心に、令和5年度に開催予定の『第九演奏会』に向けて、市民合唱団結成の準備を進める。</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	-				
	府支出金	1,500	地域における舞台芸術振興・次世代体験推進事業補助金(1/2)	80		
	地方債	-				
	その他	1,055	雑入(入場料・参加料等)	108		
	一般財源	2,545				
担当課	文化振興	課	課長名	木下 尚子	内線番号	1230

令和4年度 主な事務事業調

No. 9

事業名	赤れんがパーク等整備事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	104,834 千円			予算書	118 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	年間150万人が訪れる日本海側有数の一大交流拠点を目指す「舞鶴赤れんがパーク」の環境充実を図り、新たな展開として進めてきた民間活力のスムーズな導入により官民連携による持続可能な管理運営を促進する。				
	事業の内容	○空調設備の改修工事等			
<ul style="list-style-type: none"> ・赤れんが2号棟空調改修工事 ・赤れんが4号棟空調改修工事 					
事業の内容	○展示物などの移設費等				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	92,900	総務債		110
	その他	-			
	一般財源	11,934			
担当課	観光振興企画政策課		課長名	山内 勇輔 山本 仁士	内線 1261 番号 1330

令和4年度 主な事務事業調

No. 10

事業名	赤れんが博物館整備事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	34,122 千円			予算書	118 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>観光戦略拠点「舞鶴赤れんがパーク」を核とした一大交流拠点を整備する地方創生拠点整備事業において、赤れんが博物館周辺の遊覧船棧橋の増設や前庭広場の整備を進める中、整備後のさらなる人流の拡大を見据え、来館者の満足度向上と当該エリアの魅力拡大のため、赤れんが博物館の一層の環境充実を図る。</p>
事業の内容	<p>平成5年の開館時に整備した展示エリアの設備について改修を行うもの。</p> <p>○空調改修工事</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	34,100	総務債	110
	その他	-		
	一般財源	22		

担当課	観光振興	課	課長名	山内 勇輔	内線番号	1261
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	引揚の史実継承事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	5,323 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	<p>「次世代へ」の継承事業としての教育旅行誘致をさらに推進するとともに、次世代を担う学生語り部を積極的に育成し、舞鶴モデルとして評価されている「次世代による次世代への継承」活動をさらに展開していく。</p> <p>また、「舞鶴引き揚げの日」の定着を図るとともに、オンラインやSNS等を活用したプロモーションや、新たな切り口によるメディア露出拡大事業に取り組む。</p>					
	事業の内容	<p>【次世代への継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平和学習、教育旅行の誘致 ○オンラインや最新技術を活用した平和学習プログラムの充実、及びツールの開発 ○語り部養成講座の開催 ○資料収集・抑留者調査 ○収蔵資料の調査、アーカイブ化の推進 <p>【次世代による継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中高生語り部をはじめとする若い世代の活躍の場の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・同世代との交流の推進 ・国内外の学校、博物館等との交流の推進 ・舞鶴モデルの展開・発信 				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	1,987	地方創生推進交付金(1/2)	68		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	3,336	ふるさと応援基金繰入金	98		
一般財源	-					
担当課	舞鶴引揚記念館		課長名	山下 美晴	外線番号	68-0836

令和4年度 主な事務事業調

No. 12

事業名	世界記憶遺産国際ブランド推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	3,700 千円			予算書	120 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>ユネスコ世界記憶遺産登録資料等を活用し、グローバルな視点で国際平和を願う歴史文化の交流・発信の拠点として、国内外の学校教育機関、博物館関係機関と連携したアウトリーチ活動をより積極的に実施する。</p> <p>また、国内外の教育機関とも協働し、中・高生語り部の活動機会の創出をはじめ「次世代による継承」を推進するとともに、引揚港の歴史を有する全国の都市の協力を得て引き揚げの歴史文化を掘り起こし、国内外への発信を行うことで、舞鶴市及び舞鶴引揚記念館の国際ブランド力の強化に繋げる。</p>					
	事業の内容	<p>【国内外への情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引揚関係都市との連携による企画展とプロモーションの実施 ○引揚体験者証言アーカイブ動画を活用した史実の情報発信 <p>【国内外の教育機関や博物館との連携による学び・交流の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学等の教育機関と連携した講演会や学生（中・高・大学生）世代間交流ワークショップ（舞鶴・敦賀・沖縄）の開催 ○オンラインを活用した次世代による国際的な交流の場の創出 				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書	
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	3,700	ふるさと応援基金繰入金	98		
	一般財源	-				
担当課	舞鶴引揚記念館		課長名	山下 美晴	外線番号	68-0836

令和4年度 主な事務事業調

No. 13

事業名	世界記憶遺産資料保存活用事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	1,955 千円			予算書	120 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>ユネスコ世界記憶遺産登録資料をはじめとする所蔵資料を後世に永く引き継いでいくため、白樺日誌や絵画資料などの状態や館内の保存・展示環境の調査を実施するなど、世界的に重要な資料の保存と活用の両立を目指す。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○白樺日誌・絵画資料等の状態調査の実施 ○保存・展示環境の調査の実施 ○有識者や専門家等による実態調査・評価の実施

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,955	ふるさと応援基金繰入金	98
	一般財源	-		

担当課	舞鶴引揚記念館	課長名	山下 美晴	外線番号	68-0836
-----	---------	-----	-------	------	---------

令和4年度 主な事務事業調

No. 14

事業名	日本遺産活用推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	13,373 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～」として日本遺産に認定されたストーリーや日本イコモス国内委員会の「日本の20世紀遺産20選」に選定された強みを活かし、旧軍港4市強力な連携のもと積極的なプロモーションを展開することで交流人口増加を目指す。</p> <p>また、昨年海軍舞鶴鎮守府開庁120年を迎えたことを契機として、海軍ゆかりの食文化など、まちの魅力をさらに掘り起こし、事業者との連携により観光消費の拡大につなげる。</p>					
事業の内容	<p>旧軍港市日本遺産活用推進協議会と連携し、海軍舞鶴鎮守府の歴史・文化、遺産などを活用し積極的な観光プロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「日本遺産WEEK」の開催 旧軍港4市が時期を合わせ、日頃非公開の日本遺産構成文化財の特別公開を中心としたイベントを開催（10月） ○旧軍港4市グルメ交流会の開催 各市の魅力を紹介する交流イベントを佐世保市で開催 ○海軍グルメのプロモーション 肉じゃがやカレーなどの海軍グルメをテーマに、市内事業者や関係団体、大手企業との連携により商品開発やイベント等を開催 					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	4,260	地方創生推進交付金(1/2)	68		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	9,113	ふるさと応援基金繰入金	98		
	一般財源	-				
担当課	観光振興	課	課長名	山内 勇輔	内線番号	1261

事業名	地方創生拠点整備事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	282,574 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>観光戦略拠点「舞鶴赤れんがパーク」を核として、隣接する海上自衛隊施設との連携を図りながら、周辺一帯を日本海側を代表する一大交流拠点とするため、防衛省の「まちづくり支援事業（補助率7.5/10）」を最大限に活用した整備を進める。</p>
事業の内容	<p>【令和4年度事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海側動線（赤れんが博物館前～東体育館西側）ボードウォーク、休憩施設等整備 ・赤れんがパーク駐車場トイレ等整備 ・赤れんがパーク駐車場進入路（交差点）等設計 ・海側遊歩道等用地取得、建物移転補償 等

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	191,030	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金(7.5/10)	68
	府支出金	-		
	地方債	89,400	総務債	110
	その他	2,000	都市開発推進基金繰入金	98
	一般財源	144		

担当課	企画政策 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 16

事業名	舞鶴市SDGs未来都市推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	46,933 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>教育機関や企業など、市内外の多様な主体との連携を密にし、SDGs未来都市として目指す持続可能な「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし」の実現に向け、先進技術の導入による地域交通の利便性向上や防災機能の強化等に取り組むとともに、これら様々な取組の周知活動を行い、一層の市民参画・理解を図る。</p>		
事業の内容	<p>1. 共助による移動手段 (meemo) 確立に向けた M a a S 推進事業費 (No.17)</p> <p>2. 赤れんがコワーケーション推進事業費 (No.18)</p> <p>3. 産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業費 (No.19)</p> <p>4. AI・ロボティクス業務効率化推進事業費 (No.20)</p> <p>5. 舞鶴市SDGs未来都市の取組に市民から共感を呼ぶ周知活動事業費 (No.21)</p>		

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	25,316	地方創生推進交付金(1/2)、 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	14,800	ふるさと応援寄附金	96
	一般財源	6,817		

担当課	—	課	課長名	—	内線番号	—
-----	---	---	-----	---	------	---

令和4年度 主な事務事業調

No. 17

事業名	共助による移動手段（meemo）確立に向けたM a a S 推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	12,300 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大 <u>継続</u>	

事業の目的	<p>共助の仕組みによる新たな移動手段（meemo）の確立を目指し、令和2年度と3年度に実施した実証実験の検証結果を踏まえ、ITを活用した持続可能な地域交通体系の構築を図る。</p>
事業の内容	<p>公共交通の十分でない地域における住民の移動手段を確保するため、交通事業者の協力を得ながら、高野地区をモデル地区として、スマホアプリを活用した住民同士の移動マッチングシステムを運用する。</p> <p>また、地域の移動手段として持続可能なシステムを確立するため、引き続き地域に入り、地域が主体となる運用体制の構築に向けた支援を行う。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	8,250	地方創生推進交付金(1/2)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	4,050		

担当課	企画政策 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 18

事業名	赤れんがコワーケーション推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	18,600 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、テレワークなど働く場所を自由に選択できる仕組みが推進されるなか、赤れんがコワーキングスペースを新たなビジネス交流やワーケーション事業の拠点とするために、都市部企業と市内事業所との交流を促すセミナー、ワークショップを定期的を開催する。</p> <p>また、市内・外の教育機関等と連携した子どもを対象としたワークショップを継続的に開催し、若者や子どもたちがチャレンジできる環境を整えるための拠点として活用する。</p>					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○都市部（関西圏・首都圏等）企業の誘致（テレワーク・ワーケーション） ○専属スタッフの配置（コワーキング管理運営・広報活動） ○SDGs 普及促進にむけたリーダーシッププログラムの実践 ○子ども向けワークショップの開催（プログラミング、電気工作等） ○地方で働きたい全国の若者と市内事業所等との雇用マッチング ○ボランティアや副業等で地方と関わりを持つ企業人と市民による新たなチャレンジワークキャンプ※の実施 ○学生のゼミ合宿誘致、学生交流イベントの実施 <p>※チャレンジワークキャンプ：民間企業や都市部の人材などが地域住民と共に環境や農業をはじめとする一次産業などの地域課題に取り組み、個々のスキルアップを継続して当該地域に関心を持つことで交流人口の増加を図るもの。</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		
	国支出金	9,300	地方創生推進交付金（1/2）			68
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	9,300	ふるさと応援寄附金			96
一般財源	-					
担当課		移住・定住促進 課	課長名		砂田 敏昌	内線番号 1331

事業名	産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	10,000 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>近年、気候変動等により浸水等が常態化している状況を踏まえ、オムロンソーシアルソリューションズ(株)や舞鶴工業高等専門学校、KDDI(株)と連携し、リアルタイムの水位把握や浸水映像の提供など、防災情報等の見える化を目指すシステム開発を促進する。</p> <p>また、内閣府が開発している、250m四方の細かい範囲で、6時間先の避難判断予測を行う市町村災害対応統合システムとの連動を目指す。</p>
事業の内容	<p>防災情報の見える化を進めるポータルサイト整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開用画面の見やすさ向上 ・管理者用画面の機能向上 ・市町村災害対応統合システムとの連動に向けたカスタマイズ(令和5年度 運用開始予定) <p>通信費、データ使用料等</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	5,000	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	5,000	ふるさと応援寄附金	96
	一般財源	-		

担当課	土木 危機管理・防災 課	課長名	東山 直 梅川 正	内線 番号	2350 2561
-----	-----------------	-----	--------------	----------	--------------

事業名	AI・ロボティクス業務効率化推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	5,533 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>先進技術を活用した行財政改革の一環として、令和元年度より実証・実装を開始した「AI-OCR、RPA」の適用範囲をさらに拡大し、業務プロセスの見直しと作業の自動化を進めることで、業務の効率化を加速させる。</p>
事業の内容	<p>【AI-OCR、RPA適用事務】 3年間で「7課16業務」に適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和元年度・・・3課 6業務 ◆令和2年度・・・6課10業務（通算） ◆令和3年度・・・7課16業務（通算） <p>【令和3年度新規適用業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○妊婦検査受診券入力事務 ○新型コロナウイルスワクチン接種予診票読取 ○非課税世帯臨時給付金確認書入力事務 など

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,766	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		2,767		

担当課	デジタル推進 課	課長名	吉崎 豊	内線番号	2610
-----	----------	-----	------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 21

事業名	舞鶴市SDGs未来都市の取組に市民から共感を呼ぶ周知活動事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	500 千円			予 算 書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	SDGs未来都市としての様々な取組の周知活動を行い、より多くの方々の理解と協力を得るとともに、市民をはじめ、教育機関や民間事業者等との多様な連携を一層強め、持続可能な「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし」を目指す。					
	事業の内容	舞鶴市SDGs未来都市を周知し、共感を呼ぶための取組				
事業の内容		<ol style="list-style-type: none"> 1. 小・中学校、高校における総合学習へのSDGs出前授業の実施 2. 舞鶴高専杯プログラミング(SDGsアイデア)コンテストの共催 3. 舞鶴市SDGs未来都市担い手フォーラムの実施 				
	財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
国支出金		-				
府支出金		-				
地方債		-				
その他		500	ふるさと応援寄附金			96
	一般財源	-				
担当課	企画政策 課		課長名	山本 仁士		内線番号 1330

事業名	＜概要版＞移住定住の推進の取組		
費目	款	総務費、民生費、労働費、農林水産業費、土木費	
事業費	56,314 千円	予算書	— 頁
		事業区分	新規・拡大・継続

事業目的	本市への移住定住の促進を図り、「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らしができるまちづくり」を推進する。		
事業内容	<p>1. 情報発信（舞鶴を『知ってもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住の流れをさらに飛躍させるため、移住定住ガイドブック、ポータルサイトによる情報発信機能等の充実、京都府北部連携都市圏における移住促進事業の推進 【総務費】移住・定住促進総合戦略事業費 1,480千円 (No.26) 【総務費】まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費 5,829千円 (No.23) 		
	<p>2. サポート体制の充実（舞鶴を『選んでもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方での心豊かな暮らしと魅力的な仕事をセットでPRする「就業型移住」を推進 【総務費】地域おこし協力隊活動事業費 5,756千円 (No.29) 【労働費】地元就職・転職支援事業費 1,200千円 【労働費】UIJ人材獲得支援事業費 3,300千円 (No.70) 		
	<p>3. 補助制度等（舞鶴に『住んでもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が指定する居住誘導区域内及び府が指定する移住促進特別区域内で、空き家情報バンク制度を通じて空き家に入居する者が実施する住宅の改修費、空き家を提供する者が負担する準備経費に対する補助等 ・空き家を市が賃貸借しリフォームする「居住促進（お試し）住宅」の設置や東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対する支援 【土木費】まちなかエリア定住促進事業補助金 1,500千円 (No.116) 【農林水産業費】農村移住・交流促進事業費 14,574千円 (No.71) 【農林水産業費】漁村移住者受入促進事業費補助金 1,935千円 (No.85) 【総務費】地域の空き家掘り起こし事業費 210千円 (No.31) 【総務費】まちなか暮らし推進事業費 7,440千円 (No.27) 【総務費】わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金 1,600千円 (No.28) <p>（移住希望者も利用可能な補助制度）</p> 【民生費】子育て世帯住宅リフォーム等支援事業費 10,900千円 (No.58) <p>※令和4年度「京都府移住のための空き家及び耕作放棄地活用条例」の改正に伴い、移住促進特別区域の指定要件が緩和されるため、本市でもエリア拡大を目指す</p>		
	<p>4. フォローアップ（舞鶴の『良さを広げてもらう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者のネットワークを構築し、それを活用したイベント等を開催 【総務費】新たな交流創造事業費 590千円 (No.30) 		

担当課	移住・定住促進	課長名	砂田 敏昌	内線 番号	1331
	企画政策		山本 仁士		1330
産業創造・雇用促進	子ども支援	志賀 洋一	2150		
	農林	仲川 真宏	1212		
水産	農林	坂根 久喜	1240		
	水産	中井 哲也	1210		
都市計画	都市計画	吉田 章洋	2320		

令和4年度 主な事務事業調

No. 23

事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	5,829 千円			予 算 書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>京都府北部5市2町が持つ特徴や強み、豊かな地域資源などをもとに、相互のさらなる連携と役割分担により、圏域全体の活性化に資する施策を積極的に推進し、水平連携のさらなる深化を図る。</p>					
	事業の内容	<p><京都府北部地域連携都市圏の形成推進に向けた主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合同企業説明会（海の京都Work&Lifeフェア）の開催 ・ 副業・兼業人材マッチング事業の実施 ・ 農商ビジネス商談会の実施 ・ 移住・定住Webサイト「たんたんターン」の充実 ・ 技術人材、IT人材の育成・確保の検討 など 				
財源内訳		区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書	
	国 支 出 金	2,044	地方創生推進交付金 (1/2)	68		
	府 支 出 金	-				
	地 方 債	-				
	そ の 他	-				
	一 般 財 源	3,785				
担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線 番号	1330

令和4年度 主な事務事業調

No. 24

事業名	大学等教育機関とともに取り組むまちづくり展開事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	1,551 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>本市にサテライトオフィスを設置した京都府立大学をはじめ、舞鶴工業高等専門学校や市内高等学校などの教育機関と地域をつなぎ、「地域課題の解決」「市民参画・協働の推進」「人材の育成」等のまちづくり事業を展開する。</p>
事業の内容	<p>◆教育機関との協働による地域課題解決等に係る事業の実施等（学生のフィールドワーク、公開講座、講演会、研究報告会の開催など）</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	496	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,055	ふるさと応援寄附金	96
	一般財源	-		

担当課	企画政策 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	整備新幹線誘致推進費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	207 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>日本海側国土軸の形成による国土強靱化、日本海側地域全体の発展に向け、整備新幹線の京都府北部ルート誘致を目指す。</p>
事業の内容	<p>整備新幹線の京都府北部ルート誘致に向け、京都府内をはじめ、山陰地方の自治体、経済団体、同盟会等の団体などと連携した要望活動及び啓発活動等を展開する。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	207		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	移住・定住促進総合戦略事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	1,480 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規 <u>拡大</u> 継続	

事業の目的	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により地方都市への移住に関心が高まる中で、移住・定住ポータルサイトの充実やイベントの開催など、総合的な移住・定住施策に取り組み、舞鶴版地方創生の推進を図る。</p>
事業の内容	<p>移住サポーターをはじめ、関係団体等と連携した相談体制の充実と受入体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①移住希望者を対象としたポータルサイトをはじめ、様々な広報媒体を活用した移住・定住促進にかかる情報発信機能の充実 ②オンラインを含めた移住相談会への積極的な参加 ③本市出身者のUターン促進に係るイベントの開催 産業創造・雇用促進課と連携し、地方雇用を前提としたゆとりある暮らしの提案 ④移住・定住促進アクションプランの策定

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	520	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		960		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	まちなか暮らし推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	7,440 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>市外在住の子育て世代をターゲットに舞鶴における新たなライフスタイルを提供し、駅や病院、スーパーなどに近い好立地のまちなかへの定住を促進するため、空き家を利活用し、住民や自治会、舞鶴高専、不動産業者、金融機関等と地域コミュニティを構築して、地域と連携した有効なまちなかの空き家活用を推進する。</p>
事業の内容	<p>舞鶴高専及び自治会長をはじめ、宅建協会等と連携し、空き家を市が直接賃貸借し、リフォームして「居住促進（お試し）住宅」を開設する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【制度の概要事例】</p> </div>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,490	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	2,484	雑入(家賃収入)	108
一般財源	2,466			

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 28

事業名	わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	1,600 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人材不足の解消を目的として、東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対して支援を行う。
事業の内容	<p>【対象者】 東京圏から舞鶴市へ移住・転入後3ヶ月以上1年以内でかつ就業後3ヶ月以上の者 ※東京圏…東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県</p> <p>【補助額】 ◆単身で移住 60万円 ◆世帯で移住 100万円 (負担内訳：国1/2・府1/4・市1/4)</p> <p>【募集件数】 ◆単身で移住 1件 ◆世帯で移住 1件</p> <p>※転入後も転職することなく引き続き転入前の就業先にテレワークにより勤務する「テレワーク移住」を新たに補助対象に追加</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金			
	府支出金	1,200	移住支援事業補助金(3/4)	80
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		400		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	地域おこし協力隊活動事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	5,756 千円			予算書	120 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的
 コロナ禍の影響で今後地方への移住促進が予想される中、全国の優秀な人材から「地域おこし協力隊」を採用し、地元企業のニーズと地方で働きたい全国の若者等との雇用マッチングや移住後のキャリア形成をはじめ、本市の魅力発信等の活動を行い、更なる移住・定住の推進および関係人口の創出を推進する。

事業の内容

○地域おこし協力隊の活動

- ・地元企業と地方で働きたい若者の雇用マッチングとキャリア形成
- ・全国版移住ポータルサイト「SMOUT」を活用した広報活動
- ・任期：3年（最大）

※本事業に対する経費は特別交付税措置の対象

区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
国支出金	-		
府支出金	-		
地方債	-		
その他	-		
一般財源	5,756		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	新たな交流創造事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	590 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>舞鶴への移住を促すため、まずは舞鶴を知ってもらい、次に舞鶴を選んでもらう、そして舞鶴に住んでもらう、さらには移住された方に舞鶴の良さを広げてもらうという4ステップで施策を進める中、コロナ禍の影響でこれまで以上に関心が高まっている地方移住への流れを加速させていくために、舞鶴に移住してこられた様々な職種や特技を持った方々に舞鶴の良さを広げてもらうため、移住者のネットワークを構築し、それを最大限に活用した様々なイベント等を実施する。</p>				
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住サポーター制度の活用 移住希望者への情報発信や相談対応などをサポートするため、令和2年度から移住経験者による移住サポーターを設置し、市とサポーターが連携して、移住希望者及び移住者への情報発信や相談対応、移住者同士の交流促進等に取り組み、移住者の受入体制を強化する。 ・ 移住者交流会の開催 移住サポーターを中心に、移住希望者及び移住者同士の交流促進の場を提供 			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	250	地方創生推進交付金(1/2)	68	
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	340			
担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331

令和4年度 主な事務事業調

No. 31

事業名	地域の空き家掘り起こし事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	210 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>令和4年度に「京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例」の改正に伴い、移住促進特別区域の指定要件緩和が見込まれる。京都府の条例改正内容をふまえ、移住促進を効果的に進めるため、空き家を登録し、移住希望者へ紹介する「空き家情報バンク」の充実と地域での移住者の受け入れ体制を強化し、移住への流れを促進する。</p>
事業の内容	<p>地域団体の働きかけにより、空き家所有者が地域と連携して空き家情報バンクへ新規登録を行った場合、その活動に対する報奨金を地域団体に支給する。</p> <p>【対象者】 区・自治会・振興協議会など</p> <p>【補助額】 1物件あたり3万円</p> <p>【条件】 空き家情報バンクへの登録だけでなく、移住者の受け入れ及び移住後の支援を積極的に行う団体等</p> <p>※事業期間：既存の移住促進特別区域では3年間 新規の移住促進特別区域では、区域指定から3年間</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	105	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		105		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 32

事業名	ふるさと応援推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	55,018 千円			予算書	120 頁	
				事業区分	新規 <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>ふるさと納税制度を通じ、本市のまちづくりや魅力に関心を寄せていただく方々の数を増やすとともに「ITを活用した心を通う便利で心豊かな田舎暮らし」ができるまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>本市の魅力の発信強化により、ふるさと納税のさらなる利用拡大を図るため、地域商社等と連携し、参加事業者の拡大や、返礼品目の増加をはじめ、返礼品の高付加価値化、地域体験型など利用者の多様なニーズに応じた選択幅の広い返礼品づくりなどに取り組む。 また、ポータルサイト運営企業等と連携した情報発信の強化を図る。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	55,000	ふるさと応援寄附金	96
	一般財源	18		

担当課	企画政策 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	SDGs ジェンダー平等推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 男女共同参画推進費
事業費	1,352 千円			予算書	122 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	SDGsに定められた達成すべき17のゴールの1つである「ジェンダー平等」を積極的に推進していくため、男女共同参画センター「フレアス舞鶴」を拠点に、幼少期からの「ジェンダー平等」教育をはじめ、男女共同参画計画「まいプラン」に定めたあらゆる分野における意識啓発の取組を進める。					
	事業の内容	▽「ジェンダー教育」の推進 →幼稚園、保育所、小・中学校、高校への出前授業の実施 ▽男女共同参画講演会・セミナー等の実施 (ジェンダー平等・防災・DV・誕生学等)				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	-				
	府支出金	675	人権啓発事業費補助金(1/2)	80		
	地方債	-				
	その他	6	雑入(託児料)	108		
一般財源	671					
担当課	人権啓発推進	課	課長名	山本 哲也	内線番号	1272

事業名	舞鶴版マザーズジョブカフェ推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 男女共同参画推進費
事業費	5,870 千円			予算書	122 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>中総合会館5階にある男女共同参画センター「フレアス舞鶴」に市職員が常駐し、働きたい女性や子育て世代らをターゲットとした「舞鶴版マザーズジョブカフェ」を開設し、Wi-Fi環境を整備した施設の一部をコワーキングスペースとして活用するとともに、託児ルームで短時間の一時預かりを行い、子育て中の女性たちもスキルアップのための学びの時間やリモートワークなどの時間を確保できるよう支援する。</p> <p>また、長引くコロナ禍の影響などにより増加している子育てや夫婦、仕事などに関する様々な相談にも応じ、必要な支援窓口へつなぐ「コンシェルジュ機能」の強化や、積極的なワークライフバランスの推進等について、市内事業所への働きかけにも取り組む。</p>			
	事業の内容	<p>[舞鶴版マザーズジョブカフェの開設]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽働きたい女性、子育て世代をターゲットとしたコワーキングスペースを開設 ▽託児ルームでの「短時間一時預かり」を実施（週2回） ▽女性活躍を後押しするスキルアップセミナーや研修の開催 ▽ワークライフバランス等の推進を図るためのワークショップやセミナーを開催（市内事業所等への働きかけ） 		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	2,621	地域女性活躍推進交付金(1/2)、子ども・子育て支援交付金(1/3)	68
	府支出金	454	子ども・子育て支援交付金(1/3)	80
	地方債	-		
	その他	172	雑入(託児料)	108
	一般財源	2,623		
担当課	人権啓発推進課	課長名	山本 哲也	内線番号 1272

令和4年度 主な事務事業調

No. 35

事業名	舞鶴市公共交通ネットワーク会議事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	5,000 千円			予 算 書	122 頁	
				事業区分	新規 <u>拡大</u> 継続	

事業の目的	<p>持続可能な公共交通のあり方検討や利用促進を図るため、「舞鶴市公共交通ネットワーク会議」が地域公共交通計画に基づき実施する公共交通利用促進事業に対して支援を行う。</p>
事業の内容	<p>○地域公共交通計画に基づく、公共交通利用促進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段バス利用しない人を中心に、バス利用を促すための割引回数券の販売等 3,000円分(150円券×11枚綴×2セット)を 1,000円で販売 販売枚数：2,000セット ・ 市民が公共交通への関心を持つきっかけとなるイベントの開催 ・ JRポケット時刻表、路線バスマップ等作成

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	4,600	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	68
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	400		

担当課	企画政策 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 36

事業名	北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	90,547 千円			予 算 書	122 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>京都丹後鉄道の線路・車両等の基盤等保有会社である北近畿タンゴ鉄道が、運行の安全を確保するために実施する事業等に対し、国及び沿線自治体（2府県及び5市2町）により支援を行う。</p> <p>また、京都丹後鉄道の利用促進のため沿線市町（6市2町）で構成する「京都丹後鉄道利用促進協議会」の運営のため、分担金を負担する。</p>					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 北近畿タンゴ鉄道基盤管理補助 51,696千円 基盤管理委託料、管理経費分に対する補助 北近畿タンゴ鉄道経営対策補助 13,009千円 固定資産税相当額分、西駅交流センター賃借料分に対する補助 北近畿タンゴ鉄道基盤整備補助 25,692千円 北近畿タンゴ鉄道の実施する安全性の向上に資する鉄道施設の設備投資・更新に対する補助 協議会分担金 150千円 				
財源内訳		区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	25,600	総務債			110
	その他	-				
一般財源		64,947				
担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330

事業名	バス路線維持確保対策費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	87,600 千円			予 算 書	122 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>市民生活の移動手段として重要な役割を果たすバス路線の維持確保を図るため、国、府と共に支援を行う。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都交通バス路線への補助 67,300千円 高浜線、大江線（2路線）、東西循環線（2路線）、常・溝尻循環線、和田線、朝来循環線、三浜線（2路線）、田井野原線（5路線）、長浜循環線、真倉線、市場循環線 ・ 自主運行バス路線（7地域）への補助 20,300千円 岡田上バス、岡田中バス、池内バス、西大浦バス、青井校区バス、杉山・登尾バス、多門院バス

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	30,450	市町村運行確保生活路線維持費補助金 (1/2)	80
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
一般財源		57,150		

担当課	企画政策 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	市税徴収一般事務経費 (うちインターネットを利用した納税環境の充実)					
費目	款	総務費	項	徴税费	目	徴収費
事業費	10,958 千円			予算書	126 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	令和5年度から全国で実施される納税者の利便性向上施策 (QRコードやインターネットを活用した納税)に対応するため、システム改修を行う。				
	<p>1 スマートフォンを使った納税や金融機関窓口での納税に対応する全国共通仕様のQRコード運用開始に対応するシステム改修 個人市民税(普通徴収分)、固定資産税、軽自動車税の納付書にQRコードの印字等 [新規]</p> <p>2 主に事業所で利用されているインターネットを利用した納税システム「eLTAX(エルタックス:地方税共通納税システム)」対象税目拡大に対応するためのシステム改修 [拡大]</p> <p>現行 個人市民税(特別徴収分)、法人市民税 拡大 固定資産税、軽自動車税</p>				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	-			
	府支出金	5,479	府税徴収事務委託金	90	
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		5,479			
担当課	税務課	課長名	日下部 亘	内線番号	1280

令和4年度 主な事務事業調

No. 39

事業名	生活困窮者自立相談支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉総務費
事業費	17,427 千円			予 算 書	140 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による収入減や、その他様々な要因により社会的孤立になりがちな生活困窮者等の早期自立に向け、それぞれの状況に応じた包括的・継続的な相談支援体制を構築するとともに、生活困窮者自立支援法に基づく各種事業を実施する。</p>										
事業の内容	<table border="0"> <tr> <td>自立相談支援事業費</td> <td>5,819 千円</td> </tr> <tr> <td>住居確保給付金事業費</td> <td>7,020 千円</td> </tr> <tr> <td>就労準備支援事業費</td> <td>3,870 千円</td> </tr> <tr> <td>一時生活支援事業費</td> <td>193 千円</td> </tr> <tr> <td>家計改善支援事業費</td> <td>525 千円</td> </tr> </table> <p>【住居確保給付金】 「主たる生計維持者が、離職・廃業又は休業等に伴う収入減少により、離職等と同程度の状況にある世帯」に対して、原則3か月(最長9か月)まで、生活保護の住宅扶助限度額以内を支給するもの。 本事業は、令和2年度から3年度にかけコロナ禍による生活困窮者を支援するために、随時制度改正が行われ支援の拡充が図られている。</p>	自立相談支援事業費	5,819 千円	住居確保給付金事業費	7,020 千円	就労準備支援事業費	3,870 千円	一時生活支援事業費	193 千円	家計改善支援事業費	525 千円
自立相談支援事業費	5,819 千円										
住居確保給付金事業費	7,020 千円										
就労準備支援事業費	3,870 千円										
一時生活支援事業費	193 千円										
家計改善支援事業費	525 千円										

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	12,599	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金(3/4) 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(2/3)	66 68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	4,828		

担当課	福祉援護 課	課長名	小寺 雅之	内線番号	2101
-----	--------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 40

事業名	DV相談支援事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
事業費	2,835 千円			予 算 書	140 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>令和2年度に開設した「女性のための相談室」が広く周知されたことに加え、長引くコロナ禍の影響などもあり、困難や不安を抱える女性からの相談件数が増加する中で、DVに関する相談件数も増加している。</p> <p>そのような状況下において、今回新たに「配偶者暴力相談支援センター」の設置を目指し、これまで以上に関係機関との連携を強化するとともに、被害者支援に必要な事務手続きの窓口を一本化し迅速な支援を行っていくもの。</p>
事業の内容	<p>▽専門相談員による「女性のための相談室」 開設日：平日（月～金）の9時～16時</p> <p>▽配偶者暴力相談支援センターの設置 諸手続き等が完了次第スタート予定</p> <p>※配偶者暴力相談支援センターの設置により、「DV証明」の発行が可能となり、医療保険や年金事務における支援措置や児童手当の受給者変更など迅速な支援を行うことができ、被害者の負担軽減と関係機関との連携強化を図ることができる。</p>

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,233	児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		1,602		

担当課	人権啓発推進 福祉援護	課	課長名	山本 哲也 小寺 雅之	内線 番号	1272 2101
-----	----------------	---	-----	----------------	----------	--------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 41

事業名	障害者自立支援給付費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費 児童福祉費	目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費 児童福祉措置費
事業費	2,115,943 千円			予算書	142・144 ・146・156 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、障害者総合支援法に基づく下記の事業を実施するもの。			
事業の内容	<p>【自立支援給付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設支援給付費 1,574,280千円 ○短期入所（ショートステイ）給付費 20,000千円 ○居宅介護（ホームヘルプ）給付費 97,000千円 ○障害者共同生活援助給付費（グループホーム） 245,200千円 ○重度視覚障害（児）者同行援護給付費 23,370千円 ○障害者計画相談支援給付費 35,044千円 ○障害者虐待防止支援事業費 100千円 <p>【自立支援医療給付（更生医療・育成医療等）】 91,949千円 [更生医療 90,000千円、育成医療（児童福祉措置費）1,949千円]</p> <p>【補装具給付】 29,000千円</p>			

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	1,057,330	障害者介護給付・訓練等給付費負担金(1/2) 障害者医療費(育成医療)負担金(1/2)ほか	66
	府支出金	529,164	障害者介護給付・訓練等給付費負担金(1/4) 障害者自立支援医療費(育成医療)負担金(1/4)ほか	78
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	529,449		

担当課	障害福祉・国民年金 子ども支援 課	課長名	島田 敦司 志賀 洋一	内線 番号	2130 2150
-----	----------------------	-----	----------------	----------	--------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 42

事業名	医療的ケア児（者）支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉援護費
事業費	5,844 千円			予 算 書	144 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>日常的に人工呼吸器を必要とする医療的ケア児・者と看護に携わる家族の負担軽減や日中活動の促進に向けた施策として、居宅生活支援、短期入所利用促進支援、災害時等の非常時に備えた非常用電源の給付支援などの支援を実施する。</p>			
事業内容	<p>【事業概要】</p> <p>①居宅生活支援事業【移動支援、レスパイト（休息）支援】 1,914千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー利用券交付（通院等外出支援） 入院時等コミュニケーション支援（付き添いや見守りとしてヘルパーを派遣） 居宅医療的ケア児支援（居宅等に看護師を派遣） <p>②医療的ケア児者等短期入所利用促進事業 3,430千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 短期入所受入体制補助 短期入所開始アセスメント補助 相談支援専門員モニタリング補助 <p>③日常生活用具給付事業 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活用具として、非常用電源を給付 			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
財源内訳	国支出金	1,158	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）	68
	府支出金	2,294	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4） 医療的ケア児者・重度心身障害児者福祉サービス利用等促進事業補助金（1/2）ほか	80
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,392		

担当課	子ども支援 障害福祉・国民年金 課	課長名	志賀 洋一 島田 敦司	内線 番号	2150 2130
-----	----------------------	-----	----------------	----------	--------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 43

事業名	障害者地域生活支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費
事業費	121,331 千円			予算書	144・146 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、下記の市町村独自事業を実施するもの。			
事業の内容	<p>【地域生活支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者相談支援事業費 24,000千円 (4か所の障害者支援センターによる相談支援) ○地域活動支援センター事業費 30,000千円 ○障害(児)者等移動支援事業費 4,680千円 (重度身体障害者等の移動支援) ○聴覚言語障害者等支援事業費 16,815千円 (手話通訳者の設置、要約筆記者等の派遣) ○日常生活用具給付事業費 26,200千円 ○成年後見制度利用支援事業費 100千円 ○障害(児)者日中一時支援事業費 10,636千円 ○心身障害者訪問入浴サービス事業費 8,900千円 			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	48,096	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	68
	府支出金	24,048	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	80
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	49,187		
担当課	障害福祉・国民年金 子ども支援 課	課長名	島田 敦司 志賀 洋一	内線 2130 番号 2150

令和4年度 主な事務事業調

No. 44

事業名	後期高齢者医療療養給付費負担金・後期高齢者医療事業会計繰出金					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費
事業費	1,316,965		千円	予算書	146・148頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度に係る経費のうち、京都府後期高齢者医療広域連合へ納める負担金等
事業の内容	<p>○後期高齢者医療療養給付費負担金 959,085千円 医療費の1/12 (京都府後期高齢者医療広域連合への負担金)</p> <p>○後期高齢者医療事業会計繰出金 357,880千円 ・保険基盤安定分 299,214千円 ・事務費分 58,666千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	224,410	後期高齢者医療保険基盤安定負担金(3/4)	78
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,092,555		

担当課	保険医療課	課長名	樋口 誠	内線番号	2160
-----	-------	-----	------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 45

事業名	高齢者外出支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 在宅老人対策費
事業費	19,105 千円			予算書	148 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>75歳以上の高齢者が外出しやすい環境をつくるため、高齢者が公共交通機関を利用する際の料金を支援する。</p> <p>(期待する効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出を支援し、健康増進に寄与する。 ・高齢者の外出により、消費活動を促し地域活性化に寄与する。
	<p>交通事業者と協力して、高齢者の外出支援を行う。</p> <p>【事業内容】 75歳以上の高齢者を対象に、交通事業者と協力して、運賃の補助制度を設ける。</p> <p>【補助対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス（京都交通バス、自主運行バス） ・タクシー（舞鶴京都タクシー、日交タクシー、ふく福タクシー、介護専門タクシー） ・京都丹後鉄道

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,562	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	11,981	雑入(利用者負担金)	108
	一般財源	3,562		

担当課	高齢者支援 課	課長名	植和田 浩行	内線番号	2140
-----	---------	-----	--------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 46

事業名	人権啓発事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	人権啓発費
事業費	1,535 千円			予 算 書	150 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>市民一人ひとりの人権が尊重される地域社会を築くため、「舞鶴市人権教育・啓発推進計画」に基づき、広く市民に人権の大切さを訴えるなど、人権意識の向上を図るための啓発を行う。</p>				
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権のつどいの開催 ・人権啓発セミナーの開催 ・人権の花運動の実施（小学校、幼稚園等） ・じんけんフェスタの開催 （保護司による講演と映画上映を実施） 			
財源内訳		区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	
	国 支 出 金	-			
	府 支 出 金	1,059	人権啓発事業費補助金 (1/2) 人権啓発事業委託金		80 90
	地 方 債	-			
	そ の 他	-			
	一 般 財 源	476			
担当課	人権啓発推進 課		課長名	山本 哲也	内線 番号 1272

令和4年度 主な事務事業調

No. 47

事業名	公私連携幼保連携型認定こども園等整備事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉総務費
事業費	98,420 千円			予 算 書	154 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>人口減少・少子化が進行する中、将来を見据えた持続可能な教育・保育の提供体制を推進するため、園舎が築40年以上経過し、老朽化が著しい市立中保育所と、認定こども園への移行を目指す私立中舞鶴幼稚園との機能統合により、新たに「公私連携幼保連携型認定こども園」を中総合会館周辺に整備する。</p> <p>なお、当該認定こども園の整備にあたっては、新たに国有地等の土地を購入するとともに、中総合会館駐車場や中舞鶴公園、東消防署出張所を含む中総合会館周辺敷地を一体的に活用して実施することとし、教育・保育環境の向上のみならず、中総合会館の慢性的な駐車場不足の解消を図るなど、公共施設の効率的な運営と市民サービスのさらなる向上を図る。</p>
事業の内容	<p>認定こども園の建設及び中総合会館駐車場整備のために必要な用地の取得及び各種調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建物調査業務委託費等 8,420千円 ●用地取得費 90,000千円 <p>【対象物件】 中総合会館南側（舞鶴市字余部上）の土地 ・財務省 ※ 中総合会館駐車場として賃借中の部分 ・日本交通株式会社</p>

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		98,420		

担当課	幼稚園・保育所	課	課長名	川崎 弘史	2471
	資産マネジメント推進			岩田 宏幸	内線 1361
	建設総務			大槻 成雄	番号 2330
	地域づくり支援			飯田 徹	1225

事業名	児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症防止対策経費 (うち保育施設等分)				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	23,450 千円			予算書	154 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	児童福祉施設等において、新型コロナウイルスの感染防止対策を充実・強化することにより、引き続き、感染症の拡大防止の徹底を図る。
	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、市内の児童福祉施設等に対し、感染防止対策に必要な衛生用品等の配布及び購入支援を行う。</p> <p>【対象施設】 保育所、認定こども園、地域子ども・子育て支援事業所（一時預かり、病児保育、延長保育）等</p> <p>【対象経費】 ① 職員が感染症対策の徹底を図りながら保育業務等を継続的に実施していくために必要な「かかり増し経費」等 ② マスク、消毒液、その他感染防止用備品等</p> <p>【基準額等】 利用定員等に応じ、1施設当たり 150千円～500千円以内</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	20,000	保育対策総合支援事業費補助金(1/2)、子ども・子育て支援交付金(1/3)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	68・70
	府支出金	3,450	子ども・子育て支援交付金(1/3)	82
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 49

事業名	保育所・認定こども園運営事業（全体）				
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目 児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	2,277,679 千円			予 算 書	154・156・158・ 160・238 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、必要な保育サービスの提供量の確保及び質の向上を図り、より良好な保育の環境づくりを推進する。また、「幼保連携型認定こども園」への移行を着実に推進することにより、0歳から就学前までの一貫した子どもの育ちや学びを支援する教育・保育体制のさらなる充実を図る。</p>		
事業の内容	<p>1. 民間認可保育園（2園・定員 150人） ① 保育委託事業費 191,896千円 2. 民間認定こども園（13園・定員 1,240人）【No. 53】 ② 施設型給付費（2・3号） 1,144,799千円 ③ 施設型給付費（1号）〈教育費〉 273,837千円 3. 民間認可保育園・民間認定こども園に対する各種事業 新④ 保育士等処遇改善臨時特例事業費【No. 51】 24,433千円 ⑤ 保育士の処遇改善事業費補助金 32,736千円 ⑥ 保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助金 1,920千円 ⑦ 保育士就労奨励事業費 5,700千円 ⑧ 保育士の就業促進補助金 4,672千円 ⑨ 保育利用児童受入促進事業費 17,842千円 ⑩ 一時預かり事業費補助金〈民生費・教育費〉 24,542千円 ⑪ 延長保育促進事業費補助金 5,116千円 ⑫ 保育所等発達支援事業費補助金 17,091千円 新⑬ 保育環境改善事業費補助金【No. 50】 15,435千円 ⑭ 保育所等運営・人材確保基盤強化支援事業補助金 4,490千円 ⑮ 保育所等施設整備資金借入金利子補給金 669千円 4. 公立保育所（2園・定員350人） ⑯ 運営費 387,772千円 5. 公立認定こども園（1園・定員93人）【No. 53】 ⑰ 運営費 124,729千円</p>		

区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
財源内訳	国支出金	932,336	子どものための教育・保育給付交付金 (1/2、57.72/100) 他 66・68・70
	府支出金	436,414	子どものための教育・保育給付交付金 (21.14/100、1/4) 他 78・82・88
	地方債	-	
	その他	61,300	保育所保育料、保育所使用料、認定こども園使用料、雑入（給食代）他 58・60・96・108
	一般財源	847,629	

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	(再掲) 保育環境改善事業費補助金				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	15,435 千円			予算書	156 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>老朽化に伴う既存施設の改修や設備等の更新など、民間保育園等が実施する保育環境の向上・改善に資する取組を支援することにより、子どもを安心して育てることができる体制整備及び快適な保育環境のさらなる充実を図る。</p>
	<p>保育環境の向上等を図るために必要な費用の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 補助対象施設 認可保育所、認定こども園 (いずれも、民間施設) ■ 補助対象経費 ①老朽化した備品・設備等の更新 ②フローリング又はカーペット等の張替え など ■ 補助基準額等 1施設当たり 1,029千円 (負担割合: 国 1/3、府 1/3、市 1/3) <p>※ 国の「保育対策総合支援事業費補助金」が拡充され、令和4年度から新たに補助メニューとして追加されたもの。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	10,290	保育対策総合支援事業費補助金(2/3)	82
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		5,145		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 51

事業名	(再掲) 保育士等処遇改善臨時特例事業費 (令和4年4月～9月分)				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	28,232 千円			予算書	156 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>令和3年11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる保育・幼児教育の最前線において働く方々の収入の引上げを行うもので、喫緊の課題である「保育士不足」の解消を図り、保護者等のニーズに適切に対応した質の高い教育・保育体制のさらなる充実を図る。</p>
	<p>保育士等を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度引き上げるための措置を行う。</p> <p>■ 対象者： 認可保育所、認定こども園で勤務する職員 ただし、公立施設は、会計年度任用職員に限る</p> <p>■ 処遇改善措置の開始時期： 令和4年2月分から (令和3年度執行分は、補正予算により別途計上)</p> <p>■ 事業実施要件： 基本給又は決まって毎月支払われる手当により、国の基準額以上の処遇改善を実施する社会福祉法人等に対し、補助金を交付する。 また、公立施設は直接執行とし、民間給与水準を踏まえた改善とする。</p> <p>○ 事業費内訳 民間分：24,433千円 公立分：3,799千円</p> <p>■ 負担割合： 国 10/10</p> <p>※ 本事業は、令和4年9月までの時限措置であり、同年10月以降の取扱いについては、従来の施設運営費及び施設型給付費等の給付体系の枠組みの中で、上記の水準を反映した継続的な処遇改善を実施する。</p> <p>※ 上記のほか、民間保育士等に対し、独自の賃金改善の取組を実施。 ・保育士の処遇改善事業費補助金(月額最大12,000円) 32,736千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	28,232	保育士等処遇改善臨時特例交付金(10/10)	70
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		-		

担当課	幼稚園・保育所 人事課	課長名	川崎 弘史 濱井 香代子	内線 番号	2471 1342
-----	----------------	-----	-----------------	----------	--------------

事業名	乳幼児教育充実・強化推進事業費					
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目	児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	10,434 千円			予算書	154・158・頁 160・238	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	<p>「主体性を育む乳幼児教育の推進」を基本理念とする乳幼児教育ビジョンに基づき、市民の乳幼児教育への理解を深め、保育者・教員の研修による質向上を図るとともに、保育所・幼稚園・認定こども園から小学校へのさらに円滑な接続とするため、保幼小連携の一層の充実を図ることにより、“乳幼児期の豊かな成長への支援”を強化する。</p> <p>また、「舞鶴市乳幼児教育センター」を拠点とし、当該ビジョンに基づいた乳幼児教育の実践の推進や情報発信、保育者の育成強化等に取り組むことで当該ビジョンの具現化をさらに推し進め、乳幼児教育の充実を目指す。</p>												
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乳幼児教育ビジョン及びビジョンに基づく実践の周知・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター等の発行：8回 ・出前講座等の実施：4回 ■ 保育者研修・育成に基づく乳幼児教育の質の向上研修 <ul style="list-style-type: none"> ・公立・私立園の保育者・小学校教員が共に学ぶ研修等の実施（子どもを主体とした保育、保幼小連携等） 講演会：1回 公開保育：5回 その他 研修：8回 ■ 保幼小中接続カリキュラムの活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力園校の連携活動の充実・強化 ■ 「乳幼児教育センター」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育コーディネーター・相談員の配置 ・センター運営会議の開催 3回 等 ■ 認定こども園へ移行予定の私立幼稚園に対する研修等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修：10回 												
内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: none;">【民生費】</td> <td style="border: none;">児童福祉措置費（民間保育園・民間認定こども園）</td> <td style="border: none; text-align: right;">800千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">保育所費（公立保育所）</td> <td style="border: none; text-align: right;">342千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">認定こども園費（公立認定こども園）</td> <td style="border: none; text-align: right;">114千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">【教育費】</td> <td style="border: none;">幼稚園費（乳幼児教育全般）</td> <td style="border: none; text-align: right;">9,178千円</td> </tr> </table>	【民生費】	児童福祉措置費（民間保育園・民間認定こども園）	800千円		保育所費（公立保育所）	342千円		認定こども園費（公立認定こども園）	114千円	【教育費】	幼稚園費（乳幼児教育全般）	9,178千円
【民生費】	児童福祉措置費（民間保育園・民間認定こども園）	800千円											
	保育所費（公立保育所）	342千円											
	認定こども園費（公立認定こども園）	114千円											
【教育費】	幼稚園費（乳幼児教育全般）	9,178千円											

財源内訳	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	5,217	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金(1/2)、教育支援体制整備事業費交付金(1/2)	68・74
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源	5,217			

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 53

事業名	(再掲) 認定こども園への移行について					
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目	児童福祉措置費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	1,543,365 千円			予算書	156・160・頁 238	
				事業区分	新規 (拡大)・継続	

事業の目的	保育の質の向上につながる環境づくりを推進する中、私立幼稚園のうち1園が、令和4年度から、新たに0歳児～2歳児の受け入れを可能とする「幼保連携型認定こども園」に移行することにより、0歳から就学前までの一貫した子どもの育ちや学びを支援する教育・保育体制のさらなる充実を図る。					
	事業内容	1. 【公立】認定こども園 (舞鶴こども園) <<定員: 93人>> 施設運営費 124,729千円 2. 【民間】認定こども園 <<定員: 1,240人>> (民生費) 施設型給付費 (2・3号) 1,144,799千円 (教育費) 施設型給付費 (1号) 273,837千円 《令和4年度移行園》 幼保連携型認定こども園 朝来幼稚園 <<定員: 68人>> ※ 令和4年度施設数 ・認可保育所 公立 2園 民間 2園 計 4園 ・認定こども園 公立 1園 民間 13園 計 14園 ・幼稚園 公立 0園 民間 9園 計 9園				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書
	国支出金	716,017	子どものための教育・保育給付交付金 (1/2、57.72/100) 他	66・68・70
	府支出金	350,130	子どものための教育・保育給付交付金 (21.14/100、1/4) 他	78・82・88
	地方債	-		
	その他	11,501	認定こども園使用料、雑入 (給食代) 他	60・108
	一般財源	465,717		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	176,076 千円			予算書	156 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	「幼保連携型認定こども園」への移行を目指す私立幼稚園に対して、認定こども園の認可・開設に向け必要な施設改修費を支援することにより、円滑な移行を推進するとともに、新たに「3号認定子ども」（0歳児～2歳児）の受け入れが可能な体制を整備・促進することにより、待機児童ゼロを確保するなど子育て環境の充実に努める。
事業の内容	<p>【対象施設】 学校法人京都聖パウロ学園 シオン幼稚園 鉄骨造・2階建（延床面積 729.23㎡）</p> <p>【工事内容】 現園舎の建替整備工事 総事業費（概算）：約2億6,000万円 うち、令和4年度執行予定額 約2億3,400万円 工期：令和4年1月～令和5年3月（予定）</p> <p>〔令和3年度 詳細設計業務、仮園舎整備工事 令和4年度 新園舎（木造・平屋建）整備工事、 ※ 給食室及び乳児用保育室の整備を含む 現園舎解体工事 他〕</p> <p>【負担割合】 〔保育部分〕 国：2/3、市：1/12、事業者：1/4 〔教育部分〕 国：1/2、市：1/4、事業者：1/4</p>
内容	<p>※ 幼保連携型認定こども園へ移行し、令和5年4月の開設を目指す。 〔移行後の定員（見込み）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育標準時間認定（1号） 43名 ・保育認定（2号・3号） 42名（うち、0歳児～2歳児 15名） <p>計 85名</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	82,161	保育所等整備交付金(2/3)	68
	府支出金	55,764	認定こども園施設整備費補助金(1/2)	82
	地方債	30,500	児童福祉債	110
	その他	-		
一般財源		7,651		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症防止対策経費 (うち放課後児童クラブ等分)				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	2,966 千円			予 算 書	158 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	児童福祉施設等が、地域子ども・子育て支援事業を実施するにあたり、新型コロナウイルスの感染防止対策を引き続き講じるため、衛生用品を配布し、感染症の拡大防止の徹底を図る。			
	<p>【対象経費】 マスク・消毒液・ハンドソープ他、感染防止用物品</p> <p>【対象施設】 子育て短期支援事業（2施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人舞鶴学園、ほか1施設 <p>乳幼児家庭全戸訪問事業（16団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余部上民生委員児童委員協議会ほか、15団体 <p>地域子育て支援拠点事業（4施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとハウス、ほか3施設 <p>子育て援助活動支援事業（1施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター <p>各地区放課後児童クラブ（29施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全18小学校区26クラブ、社会福祉法人3施設 <p>利用者支援事業（2施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、ほか1施設 <p>養育支援訪問事業（1施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども総合相談センター 			
財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,978	子ども・子育て支援交付金(1/3)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	68・70
	府支出金	988	子ども・子育て支援交付金(1/3)	82
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		
担当課	子ども支援課	課長名	志賀 洋一	内線番号 2150

事業名	子どもの豊かな育ちを支える子育て支援の取組				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	59,904 千円			予算書	158 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	社会環境が大きく変化し、ライフスタイルの多様化等により、子育てに負担や不安を抱える親が増加している現状に対応するため、地域の住民同士やNPO、学校、事業所など、多様な世代や関係団体等との地域共生による子育て支援体制づくりを推進する。 また、保健センターや子育て交流施設「あそびあむ」等においては、令和3年度に導入した「ICTを活用した次世代型子育て支援サービス」の運用を開始し、子育て世代への一層のサポート体制の充実を図るとともに、「世代循環型」の子育て拠点として、更なる利用促進の強化を図る。			
	事業内容	1. 子育て支援基幹センター運営経費 6,307千円 ・妊娠期からの安心の繋がり体制の構築 ・家庭の子育て力の向上 2. 子育て交流施設（あそびあむ）管理運営経費 31,082千円 ・多世代の参画促進など、共生による子育て支援の推進 ・市民が主体となる組織（NPO）との共同により、「どこでもあそびあむ事業」や、障害のある子どもを持つ親子や外国籍家庭など、これまで利用しづらかった方が訪れるきっかけになる「あそび」を通じた交流会など、新しい取組の展開 3. 地域子育て支援拠点運営経費（市内3か所） 14,949千円 ・親子の交流の場や相談、情報提供、講座等の実施 ・家庭訪問等による孤立しがちな家庭へのアプローチ ・中学・高校でのふれあい交流等による次世代へのアプローチ 4. ファミリー・サポート・センター事業費 6,380千円 ・産前・産後期の訪問支援の実施 ・一時預かりや育児支援の実施 5. こんにちは赤ちゃん事業費 1,186千円 ・地域の見守りによる孤立予防		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	11,147	子ども・子育て支援交付金(1/3)	68
	府支出金	11,147	子ども・子育て支援交付金(1/3)	82
	地方債	-		
	その他	1,044	子育て交流施設入館料、雑入(託児料)	60・108
	一般財源	36,566		

担当課	子ども支援課	課長名	志賀 洋一	内線番号	2150
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	放課後児童健全育成事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	134,635 千円			予算書	158 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的
 平日の放課後や土曜日、学校の長期休業期間等に学校施設等を利用して児童を安全に預かるとともに、支援体制の充実を図り、児童の健全育成並びに保護者の仕事と子育ての両立支援に取り組む。
 令和4年度においても、引き続き通年開設している児童クラブのほか、夏休みに限定した児童クラブを実施するなど、児童の安心安全な預かり、保護者の家庭と仕事の両立支援を図る。

- 事業の内容
 1 事業委託先・実施場所 [通年開設クラブ 計29クラブ]
 ・各小学校区の地域子育て支援協議会 (全18小学校区26クラブ、各小学校の余裕教室等で実施)
 ・社会福祉法人舞鶴双葉寮 (児童センターふたば、桃山町)
 ・社会福祉法人瑞光福祉会 (めだかクラブ、公文名)
 ・社会福祉法人大樹会 (南舞鶴放課後児童クラブ、行永)
 2 開設日
 ・平日(月～金)：放課後～午後6時30分
 ・土曜日、長期休業日：午前8時～午後6時30分
 3 利用者負担金
 ・年額 72,000円(2子目以降は半額)
 ※生活保護世帯には全額、市民税非課税世帯には、半額を補助
 4 放課後児童支援員の処遇改善
 収入を3%程度引き上げるための処遇改善を実施
 5 クラブ運営の質の向上に資する取組
 ・放課後児童支援員の京都府認定資格研修等の受講促進
 ・子ども総合相談センターやこども発達支援施設さくらんぼ園との連携によるクラブへの巡回相談支援の実施 等
 6 夏休み児童クラブの設置
 (2ヶ所=東地域:1ヶ所、西地域:1ヶ所)
 ・利用者負担金 11,000円(2子目以降は半額)
 ※生活保護世帯には全額、市民税非課税世帯には、半額を補助

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	42,401	子ども・子育て支援交付金(1/3)	68
	府支出金	42,401	子ども・子育て支援交付金(1/3)	82
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		49,833		

担当課 子ども支援 課 課長名 志賀 洋一 内線番号 2150

令和4年度 主な事務事業調

No. 58

事業名	子育て世帯住宅リフォーム等支援事業費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	子育て支援費
事業費	10,900 千円			予算書	158 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>総合計画に掲げる「子育て環境日本一を目指すまち」を推進するための事業の一環として、世代間で支え合うライフスタイルを選択肢として広げ、子育て世帯が、親との三世代同居・近居に対応した住環境を整えるための経済的支援を実施し、三世代が同居・近居することにより、育児に係る負担軽減を図るとともに、市外からのUターン等を促すことを目的に実施する。</p>
事業の内容	<p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯（子ども3人以上がいる世帯） ・三世代近居を新たに始める世帯 ・三世代同居を新たに始める世帯 <p>【補助内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム工事 事業費×1/2（限度額100万円） ・住宅購入仲介手数料 事業費×1/2（限度額40万円） ・住宅賃借仲介手数料 事業費×1/2（限度額5万円）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	5,450	京都府結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金(1/2)	82
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	5,450		

担当課	子ども支援課	課長名	志賀 洋一	内線番号	2150
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	子ども総合相談センター運営経費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	18,011 千円			予算書	158 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から18歳までの子どもに関わる様々な悩みや相談、支援をワンストップで提供する「子どもなんでも相談窓口」において、子育て支援基幹センター、保健センターと連携し、3センターが一つのチームとなって切れ目のない子育て支援を実施する。</p>			
	事業の内容	<p>1. 子ども総合相談センターの事業内容 (1) 育児、養護、不登校、非行、児童虐待等、子どもに関する様々な悩みや相談に関係機関と連携して対応し支援を行う。 (2) 要保護児童対策地域協議会の調整機関として、要保護(児童虐待)ケース、要支援ケース、特定妊婦に関係機関と連携して対応し支援を行う。</p>		
事業の内容		<p>2. 市町村子ども家庭総合支援拠点による相談・支援体制の充実 (1) 児童虐待の発生予防から自立支援までを総合的に対応する市町村子ども家庭総合支援拠点の機能を有する「子どもなんでも相談窓口」において、子どもとその家庭及び妊産婦等を対象として、必要な支援を行う。 (2) 「子ども総合相談センター」においては、要支援児童若しくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦を対象とした支援業務について、虐待対応専門員の配置や研修の充実などにより体制の強化を図る。</p>		
	事業の内容	<p>(3) 具体的な業務内容 ① 子ども家庭支援全般に係る業務(実情把握、情報提供、相談等対応、総合調整) ② 要支援児童及び要保護児童等への支援業務 ③ 関係機関との連絡調整</p>		
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	7,646	児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(1/2)、子ども・子育て支援交付金(1/3)	68
	府支出金	120	子ども・子育て支援交付金(1/3)	82
	地方債	—		
	その他	—		
	一般財源	10,245		
担当課	子ども支援	課	課長名 志賀 洋一	内線番号 2150

令和4年度 主な事務事業調

No. 60

事業名	生活保護扶助費					
費目	款	民生費	項	生活保護費	目	扶助費
事業費	1,524,891 千円			予算書	162 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	生活困窮者に対し、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を支援する。																																			
	<p>事業の内容</p> <table border="0"> <tr><td>施設事務費</td><td>29,933</td><td>千円</td></tr> <tr><td>生活扶助費</td><td>393,595</td><td>千円</td></tr> <tr><td>住宅扶助費</td><td>197,875</td><td>千円</td></tr> <tr><td>教育扶助費</td><td>3,171</td><td>千円</td></tr> <tr><td>介護扶助費</td><td>41,937</td><td>千円</td></tr> <tr><td>医療扶助費</td><td>849,221</td><td>千円</td></tr> <tr><td>出産扶助費</td><td>413</td><td>千円</td></tr> <tr><td>生業扶助費</td><td>5,051</td><td>千円</td></tr> <tr><td>葬祭扶助費</td><td>2,195</td><td>千円</td></tr> <tr><td>就労自立給付金</td><td>600</td><td>千円</td></tr> <tr><td>進学準備給付金</td><td>900</td><td>千円</td></tr> </table>				施設事務費	29,933	千円	生活扶助費	393,595	千円	住宅扶助費	197,875	千円	教育扶助費	3,171	千円	介護扶助費	41,937	千円	医療扶助費	849,221	千円	出産扶助費	413	千円	生業扶助費	5,051	千円	葬祭扶助費	2,195	千円	就労自立給付金	600	千円	進学準備給付金	900
施設事務費	29,933	千円																																		
生活扶助費	393,595	千円																																		
住宅扶助費	197,875	千円																																		
教育扶助費	3,171	千円																																		
介護扶助費	41,937	千円																																		
医療扶助費	849,221	千円																																		
出産扶助費	413	千円																																		
生業扶助費	5,051	千円																																		
葬祭扶助費	2,195	千円																																		
就労自立給付金	600	千円																																		
進学準備給付金	900	千円																																		
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書																																
	国支出金	1,125,522	生活保護費負担金(3/4)	66																																
	府支出金	28,367	生活保護費負担金(1/4)	78																																
	地方債	-																																		
	その他	9,288	雑入(生活保護法第63条による返還金)	108																																
一般財源		361,714																																		
担当課	福祉援護課	課長名	小寺 雅之	内線番号	2101																															

令和4年度 主な事務事業調

No. 61

事業名	公共施設再生可能エネルギー利活用調査事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 保健衛生総務費
事業費	50,000 千円			予算書	166 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>舞鶴市地域エネルギービジョンに掲げる『持続可能な社会を目指して、地域の人と資源を繋げ、新たな環境価値を創造するまち「舞鶴」』を実現するため、まずは公共施設に再生可能エネルギーを導入し、分散型エネルギー供給拠点の形成、エネルギーの地産地消による新たな地域経済の創出、防災体制の強化を目指す。</p>
事業の内容	<p>建物規模や用途に合わせた再エネ・蓄エネ設備の導入の可能性について、公共施設を対象に調査及び導入計画を構築するとともに、一部の施設において令和4年度以降の導入に向けた詳細設計を実施する。</p> <p>○調査対象施設</p> <p>市役所、公民館、小中学校など約50施設</p>

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	50,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金(定額)	70
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	資産マネジメント推進 生活環境	課	課長名	岩田 宏幸 大谷 美香	内線 番号	1361 1295
-----	--------------------	---	-----	----------------	----------	--------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 62

事業名	エネルギー産業理解促進事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 保健衛生総務費
事業費	3,000 千円			予算書	166 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、「舞鶴市地域エネルギービジョン」に位置付けられたアクションプランに基づき、市民や事業者に向けて、再生可能エネルギーや水素エネルギー等の利活用事例を紹介する機会を創出し、エネルギー産業への理解を促進させる。</p>
事業の内容	<p>再生可能エネルギーの導入・積極利用、水素エネルギー普及に向けた産業の構築に向けて、理解促進に資するイベントを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー産業理解促進展示体験会の開催 ・エネルギー産業に関するセミナーの開催 ・エネルギー産業に関する現地見学会の開催

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金(定額)	70
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		-		

担当課	みなと振興・国際交流 生活環境 課	課長名	小島 宏 大谷 美香	内線 番号	1250 1295
-----	----------------------	-----	---------------	----------	--------------

事業名	予防接種事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	232,939 千円			予算書	166 頁	
				事業区分	新規・拡大 (継続)	

事業の目的	予防接種法に基づき、感染症の発生及びまん延を予防するため、乳幼児・児童等に対する予防接種を全額公費負担により実施し、公衆衛生の向上に努める。また、高齢者に対しては、個人の感染予防のため、インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種を一部自己負担により実施する。					
	事業の内容	いずれも、協力医療機関へ委託して実施 【乳幼児・児童・生徒】 ○ ロタウイルス(生後2か月～14週6日まで) 2回又は3回 ○ B型肝炎(2か月～1歳未満) 3回 ○ ヒブ(2か月～5歳未満) 4回 ○ 小児用肺炎球菌(2か月～5歳未満) 4回 ○ 四種混合1期(3か月～7歳6か月未満) 4回 ○ 三種混合1期(3か月～7歳6か月未満) 4回 ○ 二種混合(満12歳) 1回 ○ 不活化ポリオ(3か月～7歳6か月未満) 4回 ○ BCG(5か月～1歳未満)1回 ○ 日本脳炎1期(3歳～7歳6か月未満)3回・2期(10歳～13歳未満)1回 ※積極的な接種勧奨が差し控えられていた期間に接種できなかった方に対する特例措置あり。 ○ 麻しん風しん1期(1歳～2歳未満)1回・2期(小学校入学前の1年間)1回 ○ 水痘(1歳～3歳未満) 2回 ○ 子宮頸がん(中学1年生～高校1年生) 3回 ※積極的な勧奨が差し控えられていたが、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたため、令和4年度より積極的勧奨を再開。 【高齢者】 ○ インフルエンザ(対象者:65歳以上) 個人負担金 1,500円(非課税世帯等は減免あり) ○ 肺炎球菌(対象者:65、70、75、80、85、90、95、100歳) 個人負担金 4,000円(非課税世帯等は減免あり) ※過去に、23価肺炎球菌ワクチンを接種した者は対象から除外				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	232,939				
担当課	健康づくり	課	課長名	岸本 昭彦	内線番号	6200

令和4年度 主な事務事業調

No. 64

事業名	がん検診事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	91,508 千円			予 算 書	168 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	40歳以上の市民（子宮頸がん検診は20歳以上の女性）を対象に各種がん検診を実施し、がんによる死亡者数を減少させる。					
事業の内容	【実施するがん検診の内容】					
	検診項目	対象年齢	予定人数	検診内容	受診場所	
					医療機関	保健センター等
	胃がん検診	50歳以上	2,150人	問診・胃X線検診		○
	肺がん検診	40歳以上	3,900人	問診・胸部X線検診		○
	大腸がん検診	40歳以上	6,550人	問診・便潜血検査	○	○
	乳がん検診	40歳以上女性	3,000人	問診・マンモグラフィ検査	○	
子宮頸がん検診	20歳以上女性	2,850人	問診・細胞診	○		
	【受診率アップのための個別通知】					
	がん検診受診率アップを図るため、封書、はがきなどにより対象となる市民に個別通知を送付する。					

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,114	感染症予防事業費等国庫補助金(1/2)	70
	府支出金	177	市町村休日総合がん検診支援事業費補助金(10/10)	82
	地方債	-		
	その他	3,625	雑入(保健事業検診個人負担金)	108
	一般財源	85,592		

担当課	健康づくり	課	課長名	岸本 昭彦	内線番号	6200
-----	-------	---	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 65

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 成人保健費
事業費	13,502 千円			予算書	168 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>保健師や歯科衛生士などが、地域の高齢者が集う場において、健康講座や健康相談・訪問指導をきめ細やかに行うことで、生活習慣病などの慢性疾患の悪化や加齢による心身の衰弱（フレイル）を予防し、高齢期になっても、住み慣れた地域で生き生きとした暮らしが続けられる地域づくりを目指す。</p>
事業の内容	<p>【実施方法】 京都府後期高齢者医療広域連合委託事業</p> <p>【実施内容】</p> <p>1. 高齢者が集う場における健康講座・健康相談</p> <p>対象：各地域で実施している「サロンdeすとれっち」実施団体等約100か所</p> <p>内容：フレイル予防に係る普及啓発 簡易質問票や身体・体力測定によるフレイルチェック 口腔機能チェック 低栄養リスクチェック 個別健康相談</p> <p>2. 高齢者に対する個別的支援 通いの場不参加者や健診未受診者など健康状態不明者への訪問指導</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	13,502	雑入(後期高齢者医療保健事業補助金(広域連合))	108
	一般財源	-		

担当課	健康づくり 高齢者支援 課	課長名	岸本 昭彦 植和田 浩行	内線 6200 番号 2140
-----	------------------	-----	-----------------	--------------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 66

事業名	第一工場整備事業費					
費目	款	衛生費	項	清掃費	目	清掃事務所管理費
事業費	859,880 千円			予 算 書	174 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>当施設は、平成5年に新設され、平成13年～14年にかけて、ダイオキシン対策により大規模改修を施工したが、令和元年時点で17年を経過し、安定的なごみ処理に支障をきたしてきたため、同年から5ヶ年計画で長寿命化工事を実施する。</p>
	<p>5ヶ年計画の4年目となる令和4年度は、詳細設計に基づき、下記工事を施工する。</p> <p>【設備更新工事】 燃焼設備（乾燥火格子、燃焼火格子、助燃バーナー 等） 燃焼ガス冷却設備（ガス冷却室、ガス冷却用噴射ノズル 等） 排ガス処理装置（ろ過式集じん機） 通風設備（押込送風機、空気予熱器、ガス減温器 等） 灰出設備（焼却灰押出装置、火格子下コンベア 等） 電気設備（動力・現場制御盤部分更新 等） 計装設備（中央監視制御盤、電油操作器、4成分分析計 等）</p> <p>【全体計画】 ○整備期間：令和元年度から令和5年度まで ○全体事業費：3,800百万円（債務負担行為設定額）</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	429,935	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金 (5/10)	70
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	429,900	清掃債	110
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	45		

担当課	清掃事務所	課長名	田中 洋一	外線番号	63-1614
-----	-------	-----	-------	------	---------

令和4年度 主な事務事業調

No. 67

事業名	救急医療体制の確保に向けた取り組み				
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目 医療対策総務費
事業費	88,078 千円			予算書	180 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>休日の救急輪番制の実施や市内公的3病院（舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院）の救急医療体制への支援、休日急病診療所の運営を行うことにより、市民が安全・安心に暮らすことができる救急医療体制の確保を図る。</p>
事業の内容	<p>1. 休日救急輪番制事業費 27,948千円 市内公的3病院の協力を得て、休日救急輪番制を委託実施。 ・診療体制：公的3病院による輪番体制 ・診療日：休日（日曜日・祝日・年末年始） ・診療科目：内科、外科の一次・二次救急医療、小児科の一次救急医療</p> <p>2. 公的病院救急医療体制確保事業費補助金 45,000千円 平日夜間、土曜日、輪番日以外の休日（平常診察時間外）における救急医療体制の確保に対して支援。 ・補助対象者：公的3病院 ・補助対象経費：平常診察時間外における救急患者への対応に要する経費 ・補助率：1/3（上限額1,500万円/病院）</p> <p>3. 舞鶴市休日急病診療所管理運営経費 15,130千円 舞鶴医師会等の協力により運営している「舞鶴市休日急病診療所」において、休日の一次救急（内科系の病状で比較的軽い方への応急的対応）を担うことにより、公的病院の救急医療に従事する勤務医の負担を軽減。また、二次救急（入院や手術が必要な重症者に対応）が必要と判断される場合は、輪番病院と連携して対応。 ・診療日：毎週日曜日 ・診療時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時 ・診療科目：内科 ・診療内容：病状の比較的軽い方に対する応急的診療 ・診療体制：医師（舞鶴医師会及び舞鶴市民病院）、薬剤師、看護師</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	21,400	きょうと地域連携交付金(1/2)	82
	地方債	-		
	その他	3,544	休日急病診療所収入、診断書交付手数料	60・64
	一般財源	63,134		

担当課	地域医療 課	課長名	松本 真俊	内線番号	2467
-----	--------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 68

事業名	地域医療の充実に向けた取り組み				
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目 医療対策総務費
事業費	22,700 千円			予算書	180 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>医学生等に対する奨学金の貸付や研修費補助等により、医学生、研修医や薬学部生に本市の良さや魅力を知ってもらい、将来における本市での勤務及び定着化を図る。</p> <p>また、本市をはじめとする府北部地域に共通する医療課題について、京都府立医科大学と共同で研究に取り組み、地域医療の充実につなげる。</p>			
	事業内容	<p>1. 舞鶴市地域医療確保奨学金等貸付金 9,000千円 医学生、研修医を対象に月額15万円を貸与（5名） ※市内医療機関での勤務など一定要件による返還免除の規定あり</p> <p>2. 「地域医療の充実」共同研究事業費 13,000千円 人口減少、少子高齢化といった共通の社会的課題を有する府北部地域において、医師の不足や診療科の偏在といった医療課題について、京都府立医科大学と舞鶴市が共同で研究に取り組み、地域医療の充実につなげる。 研究で得られる成果は、地域に還元し、安心して暮らせる社会の構築を目指す。</p> <p>3. 医師・医学生研修支援事業費 200千円 (1) 京都府立医科大学の5年生を対象とした、地域の医療機関での研修（臨床実習課程）において、研修先医療機関と連携し、この研修の充実が図られるよう各種支援を行い、将来の医師確保につなげる。 (2) 京都府及び京都府立医科大学が実施する、在宅医療を目指す勤務医師（40～50代）を対象とした在宅医療対応研修プログラムの参加者（市内の医療機関での研修）への支援を連携して行い、市内での定着につなげる。</p> <p>4. 【新規】医療従事者確保対策事業費 500千円 本市における薬剤師の人材不足を解消し安定的な地域医療の確保を図るため、薬学部生の本市医療機関への実務研修に係る経済的負担を軽減し、就業促進につなげる。また、人口減少の中にあって市内出身者のUターンだけでなく、本市への移住促進につなげる。 [主な経費] 研修時滞在費（居住費）補助、旅費（大学訪問等） ほか [補助額] 必要経費の1/2、上限12万円×3名</p>		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	-		
	府支出金	6,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	82
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	16,200		

担当課	地域医療課	課長名	松本 真俊	内線番号	2467
-----	-------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 69

事業名	舞鶴地域麻酔診療支援センター運営経費					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	医療対策総務費
事業費	3,500 千円			予 算 書	180 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	市内に不足している麻酔科医師を確保するため、これまでから京都府や府立医大と調整を進めており、令和3年度に締結した協定を基に本市域に舞鶴地域麻酔診療支援センターを設置するもの。			
	事業の内容			
事業の内容	○舞鶴地域麻酔診療支援センター運営事業費 3,500千円			
	<p>【センター概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 … 舞鶴医療センター内に設置 ・運営開始時期 … 令和4年4月～（予定） ・機能（役割） <ul style="list-style-type: none"> （1）舞鶴医療センター、舞鶴共済病院及び舞鶴赤十字病院の麻酔診療業務 （2）麻酔科専門研修プログラムに関する業務 （3）地域医療連携ネットワーク事業に関する業務 （4）舞鶴地域麻酔診療支援センター運営協議会の運営業務 			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,700	きょうと地域連携交付金(1/2)	82
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,800		

担当課	地域医療 課	課長名	松本 真俊	内線番号	2467
-----	--------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 70

事業名	UIJ人材獲得支援事業費					
費目	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費
事業費	3,300 千円			予 算 書	182 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>コロナ禍を契機とした地方回帰の流れを好機と捉え、地方移住を考えている即戦力人材や進学のため市外へ転出中の学生等に対して、市内企業の魅力や働きがいを効果的に伝えることで、UIJターンと市内事業者の人材確保を促進する。</p>
事業の内容	<p>UIJターン人材の採用に意欲のある事業者を募集し、採用支援企業の支援・助言を受けながら、下記の取組を実施する。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用力向上セミナー、勉強会の開催 ・自社の魅力確認、磨き上げ等の企業ブランディング支援 ・採用ホームページ作製支援 ・オンライン採用ツール活用支援 ・インターン受入支援 など

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	1,650	地方創生推進交付金 (1/2)	70
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
一 般 財 源		1,650		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	仲川 真広	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 71

事業名	農村移住・交流促進事業費				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	14,574 千円			予算書	184 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>農村地域では高齢化・人口減少によって自治会活動等の地域活動に支障が生じてきていることから、地域の担い手等の確保及び農村の活性化を図るため、空き家の提供の推進や地域での受け入れを支援するとともに、体験を通じた田舎暮らし希望者との交流や田舎の魅力を発信し、農村地域への移住・定住を推進する。</p>			
事業の内容	<p>1. 移住促進住宅(空き家提供住宅)改修等補助 14,470千円 【補助対象】 移住促進特別区域(加佐地区、大浦地区、池内地区)内の空き家であること ○移住者等への助成(住宅改修費) ・新規登録で入居された空き家1戸当たり @1,800千円(上限) ○空き家提供者への助成(空き家を提供するための準備経費) ・新規登録で入居された空き家1戸当たり @100千円 ○地域受入団体への助成(空き家提供者への働きかけや移住者が地域に溶け込むための支援経費) ・空き家への入居受け入れ毎に @10千円 ○移住者起業支援 ・移住者が店舗や事務所を開設し起業するための施設改修費助成(補助率2/3 補助額上限3,000千円)</p> <p>2. 田舎の魅力体感推進事業 104千円 ○都市部で開催する移住等のセミナーにおいて、地域の魅力や移住定住、新規就農、起業のための情報を発信する。</p>			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,700	地方創生推進交付金(1/2)	70
	府支出金	7,200	京都移住促進事業費補助金(1/2)	84
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		4,674		
担当課	農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和4年度 主な事務事業調

No. 72

事業名	万願寺甘とう振興事業費				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	21,111 千円			予 算 書	186 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	<p>京都府で初めて地理的表示（GI）保護制度に登録された『万願寺甘とう』のさらなる安定供給と消費拡大をはかり、本市農業者の農業経営の基盤となるため、生産と消費の両面から支援を行う。</p> <p>また、万願寺甘とうの特徴や低農薬等の安心・安全へのこだわり等をPRし、農産物の付加価値の向上を図る。</p>
事業の内容	<p>■「万願寺甘とう」の生産拡大を図るための施設等の整備</p> <p>○パイプハウス整備支援 19,354千円 予定施設：10棟 補助率：5/10</p> <p>○生産・流通改善条件整備支援 1,035千円 予定設備：パイプハウス内張り自動巻き上げ機 補助率：4.5/10</p> <p>■プロモーション活動経費 722千円 ・京野菜「万願寺甘とう」広報メディアの活用等</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	325	地方創生推進交付金(1/2)	70
	府支出金	20,389	京野菜等生産加速化事業費補助金(4.5/10、5/10)	84
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		397		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 73

事業名	茶業振興対策事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	1,300 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	舞鶴産のお茶は、全国茶品評会「かぶせ茶の部」において、平成24年から5年連続、また令和元年度にも産地賞を受賞している。京都宇治茶の原料生産地としてのポジションを維持しつつ、良質なお茶の産地としての認知度・ブランド力の向上を目指す。				
	事業の内容	<p>【舞鶴産のお茶PR事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市広報板PR広告 50千円 <p>【茶業振興事業】</p> <p>事業主体：舞鶴茶生産組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ■茶園の新植・改植 実施面積：25a 800千円 補助率：4/10 ■全国茶品評会出品奨励金 出品茶1点につき30千円を交付 30千円×15点＝ 450千円 <p>【令和4年度の品評会開催予定】</p> <p>両丹茶品評会 舞鶴市開催（綾部・福知山輪番） 全国茶品評会 京都府開催（前回開催：平成25年度）</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
	国支出金	-			
	府支出金	1,000	きょうと地域連携交付金(1/2) 宇治種改植加速化支援事業費補助金(4/10)		84
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源	300				
担当課	農林課		課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和4年度 主な事務事業調

No. 74

事業名	京の水田農業総合対策事業費補助金				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	466 千円			予 算 書	186 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>米政策の転換に伴う産地間競争に対応するためには、需要に応じた数量や品質の確保が必要であるため、具体的なニーズに応じた生産を行うために必要な設備、機械等を整備する取組を支援し、生産力と所得の向上を図る。</p>
事業の内容	<p>■ 「京の米」生産イノベーション事業費補助金 ○ 共同機械導入による低コスト生産支援 466千円 予定設備：遠赤外線乾燥機の導入 補助率：4 / 10 事業主体：水間稲作グループ</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	466	「京の米」生産イノベーション事業費補助金(4/10)	84
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 75

事業名	園芸産地化推進事業費補助金				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	225 千円			予算書	186 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>収益性の高い園芸産地の育成強化に向け、産地の中心となる担い手の経営基盤強化と、安定した生産体制を整備するための取組を支援し、農業経営の強化を図る。</p>
事業の内容	<p>■園芸産地化推進事業費補助金 強い生産販売体制の確立を目指すための整備</p> <p>○生産・流通改善条件整備支援 225千円 予定設備：フレールモア（草刈機） 補助率：4.5/10 事業主体：舞鶴加工用野菜生産協議会</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	225	京野菜等生産加速化事業費補助金(4.5/10)	84
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

事業名	基盤整備促進事業費				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農地費
事業費	21,200 千円			予 算 書	188 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	ほ場整備（区画整理）を実施することにより、営農労力の省力化、効率化、生産性の向上による農業経営基盤の確立を図るとともに、当該事業の実施により認定農業者等への農地集積を図る。			
事業内容	<p>○農業競争力強化農地整備事業</p> <p>（※ほ場整備を実施することにより、生産性向上による農業経営基盤の確立を図る事業。事業実施段階での地元負担は生じるが農地集積等要件を満たせば集積促進費が交付される。（実質的な地元負担は生じない。））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲江・油江地区 換地等調整業務 1,200千円（市営事業） 事業計画策定 20,000千円（府営事業を受託） ・女布地区 ※事業予定地での遺跡調査（府直営） <p>○農地中間管理機構関連農地整備事業</p> <p>（※強力に農地集積と農業競争力の強化を図るため、全ての農地を農地中間管理機構に預け、80%以上を認定農業者・法人に貸し付けると共に、販売額を20%以上向上するなどの条件のもと、国が地元負担分の補助率を引き上げ実施する事業。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝来中地区 ※嵩上げ土の搬入を終え、区画整理工事に着手（府直営） ・泉源寺地区 ※事業採択に向け、土地改良法の手続き等の準備（市、府での予算計上なし） <p>●蒲江・油江地区、女布地区、朝来中地区の府実施事業に係る市負担分について府営土地改良事業費負担金（16,650千円）で別途計上</p>			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	20,900	農業競争力強化農地整備事業費補助金（75/100）、府営土地改良事業委託金	84・90
	地方債	-		
	その他	150	基盤整備促進事業費分担金	56
	一般財源	150		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 77

事業名	有害鳥獣被害防止対策事業費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	69,299 千円			予算書	190 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	捕獲に対する報償、担い手の育成、処理施設の円滑な運用等による捕獲の推進と有害鳥獣被害防止対策協議会による侵入防止柵の設置等によって防除を推進し被害の低減を図る。			
	事業の内容	1. 猟友会及び捕獲従事者育成支援事業 (1,876千円) ・猟友会の有害鳥獣捕獲活動に係るハンター保険・自動車保険の支援 ・狩猟者の担い手確保対策経費(狩猟登録及び猟銃等購入経費の支援)		
2. 捕獲事業・捕獲活動事業 (61,968千円) ・猟友会の有害鳥獣捕獲に対する出動・捕獲報償費 57,308千円 ※森林保護のため、狩猟期のシカ捕獲報償費に森林環境譲与税を4,000千円充当(No79参照) ・有害鳥獣駆除期間中の連絡調整や捕獲確認の立会等の経費 4,660千円				
3. サル被害防止対策 (2,539千円) ・群れの頭数・行動域の調査経費 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用) ・餌付けによる捕獲、追払い用火火支給による地域支援経費				
4. 有害鳥獣被害防止対策協議会負担金 (145千円)				
5. 中丹地域有害鳥獣処理施設一時保管庫管理経費 (1,281千円)				
6. 鳥獣撃退用具購入に対する支援 (40千円)				
7. 地域が行う捕獲・防除活動への支援(新規) (詳細はNo.78参照) (1,450千円)				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,789	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	70
	府支出金	23,168	野生鳥獣被害総合対策事業費補助金(1/2、定額)	86
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	44,342		

担当課	農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 78

事業名	有害鳥獣被害防止対策事業費 (うち、地域が行う捕獲・防除活動への支援)				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	1,450 千円			予 算 書	190 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	令和3年度に実施した「有害鳥獣対策モデル事業」で得られた知見に基づいて、地域が行う捕獲・防除対策に対して支援を行い、被害の低減を図る。				
事業の内容	<p>1、鳥獣侵入経路等調査支援経費 450千円</p> <p>鳥獣から効率的に農地を守るために、専門業者とともに自然環境や既設の防護柵の設置状況を確認のうえ改善策を提案し、地域での防除活動を支援。 ※3地区を予定</p> <p>2、捕獲通報装置購入事業費補助金 600千円</p> <p>I o Tを活用し、捕獲活動の省力化を図るため、地域管理檻への捕獲通報装置設置に対して支援。 ※1/2補助、1地域当たり補助上限150千円</p> <p>3、集落内放置果樹対策事業費 400千円</p> <p>鳥獣が寄り付きにくい集落づくりのために、地域が面的に行う集落付近の放置果樹の伐採等に対して支援。 ※伐採経費1/2補助、1地域当たり補助上限100千円 防除用資材(とたん)の支給</p>				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	1,450			
担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240

令和4年度 主な事務事業調

No. 79

事業名	森林経営管理推進経費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	51,000 千円			予算書	190 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	新たな森林経営管理制度において、林業施業地集積に取り組む地域に対し、集約化の前提となる意向調査や境界明確化を実施し、林業施業の促進を図ることで、地球温暖化対策や水源涵養などの森林の多面的機能の維持・森林資源の活用の推進を図る。			
	事業の内容	①今後の林業施業地集積の基礎資料とするため、市内森林での航空レーザ計測の実施。 ②林業施業地集積に対する意向がまとまっている地域において航空レーザ計測の成果を活用し境界明確化作業を実施。 ③境界明確化が終了した森林の所有者に対する意向調査を実施。 ※森林整備や木材利用促進などのために国から譲与される森林環境譲与税（財源区分は一般財源）を財源として実施。（歳入予算は予算書26頁を参照。）		
内容		(参考) 森林環境譲与税 41,400千円 豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金 19,718千円 同基金利子 21千円		
	充当先内訳 有害鳥獣被害防止対策事業（シカ捕獲報償費） 4,000千円 (No. 77の内数) 森林経営管理推進経費 51,000千円 松くい虫防除事業費（枯死木伐採） 139千円 モデル皆伐再造林事業費 3,000千円 (No. 81) 木質バイオマス活用促進事業費補助のうち 針葉樹残材搬出支援 3,000千円 (No. 82)			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	19,739	豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金及び基金利子	92・98
一般財源	31,261			
担当課	農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和4年度 主な事務事業調

No. 80

事業名	災害に強い森づくり事業費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	22,000 千円			予 算 書	190 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	平成30年7月の豪雨災害により荒廃した森林及び溪流において、土砂、流木等の流出による再度被害を防止するため治山施設の設置を行う。												
	事業の内容												
事業の内容	<p>○災害に強い森づくり事業 22,000千円 規模の大きな治山事業について府の委託事業により、治山施設を設置し荒廃した森林及び溪流の整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所（1箇所）布敷地区 流路工 L = 137m 森林整備 1式 												
	<p>※全体計画（令和2年～4年）総事業費</p> <table border="0"> <tr> <td>令和2年</td> <td>測量設計 1式</td> <td>4,000千円</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>治山ダム工 1式</td> <td>30,400千円</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>流路工 137m、森林整備 1式</td> <td>22,000千円</td> </tr> </table>					令和2年	測量設計 1式	4,000千円	3年	治山ダム工 1式	30,400千円	4年	流路工 137m、森林整備 1式
令和2年	測量設計 1式	4,000千円											
3年	治山ダム工 1式	30,400千円											
4年	流路工 137m、森林整備 1式	22,000千円											

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	-	
	府支出金	22,000	災害に強い森づくり事業委託金	90
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

事業名	モデル皆伐再造林事業費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	3,000 千円			予算書	190 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>森林資源の循環利用のためには、これまでの間伐中心の施業から皆伐も含めた施業を進める必要があるが、経済性等から市内では実施されるケースが少なく、技術や知識が蓄積されていない。 今後の森林整備のために必要とされる技術や知識を蓄積するために、市所有人工林をモデル森林に再造林事業を実施する。</p> <p>※森林環境譲与税充当事業</p>
事業の内容	<p>1. 実施予定箇所 舞鶴自然文化園内人工林（約5ha）</p> <p>2. 事業内容 人工林伐採後の効率的な再造林や獣害対策などの低コストな再造林の手法を試験的に実施し、得られた知見を今後の森林施業に活用。 ※想定される内容 成長の早い樹種や低密度植栽による再造林 頻度の少ない下草刈りの実施 効果的な獣害対策の試行</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		3,000		

担当課	農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 82

事業名	木質バイオマス活用促進事業費補助金				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	3,700 千円			予 算 書	192 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	<p>間伐等の森林整備の際に生じる小径木や広葉樹など、従来は未利用となっていた木材の搬出を促進することにより、豪雨時の流木被害の軽減や水源涵養機能の回復など、安心安全のまちづくりを促進するとともに、森林資源の活用を推進する。</p>
事業の内容	<p>○針葉樹残材の搬出支援 3,000千円 800トン/年 @3,750円/トン ※財源：森林環境譲与税（財源区分は一般財源）</p> <p>○林地残材（広葉樹）の搬出支援 700千円 約230トン/年 @3,000円/トン ※財源：豊かな森を育てる府民税市町村交付金</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	700	豊かな森を育てる府民税市町村交付金（定額）	86
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	3,000		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線 番号	1240
-----	-------	-----	-------	----------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 83

事業名	森林整備推進事業費補助金				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	6,500 千円			予 算 書	192 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>森林の適正管理と木材の搬出利用を促進するため、市内の林業事業者や地域団体等が行う林業機械等の整備に対して補助を行う。</p>
事業の内容	<p>1. 市内の林業事業者や木材加工企業が行う、設備等の高度化に対する支援。 ※補助率 1/2 (補助金上限3,000千円)</p> <p>2. 地域団体等が里山整備活動で使用する機械の購入に対する支援。 ※事業費下限100千円、補助上限500千円。汎用性の低いものに限る。</p> <p>(参考) 豊かな森を育てる府民税市町村交付金 対象事業費9,200千円</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>充当先内訳 森林整備推進事業費補助金 6,500千円 木質バイオマス活用促進事業費補助のうち 広葉樹残材搬出支援 700千円 (No. 82) 河川整備事業費 (流末水路整備) 2,000千円 (No. 111)</p> </div>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	6,500	豊かな森を育てる府民税市町村交付金 (定額)	86
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線 番号	1240
-----	-------	-----	-------	----------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 84

事業名	林道改良事業費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林道管理費
事業費	15,000 千円			予算書	192 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>林道上漆原線においては、路面が急勾配のため豪雨時のたびに洗掘が生じており、日常管理に多大な経費を要する状態となっている。</p> <p>利用者の安全確保と維持管理費を軽減するため、道路面の改良を行う。</p>
事業の内容	<p>路線名 林道上漆原線 林道路面改良 L = 300 m 事業費 15,000 千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	15,000	辺地債	110
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 85

事業名	漁業担い手育成支援事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	2,995 千円			予 算 書	194 頁	
				事業区分	新規・拡大 (継続)	

事業の目的	新たな漁業の担い手の確保や活力ある漁業や漁村を実現するため、新規漁業者、若手・中堅漁業者の育成、漁船等の取得、更には漁村における就業、定住を支援する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○「海の民学舎」運営協議会負担金 430千円 ○漁船等リース事業費補助金 600千円 漁船1隻 補助率：1/3以内 ○漁村移住者受入促進事業費補助金 1,935千円 <ul style="list-style-type: none"> ・移住者への助成（空家改修費） 1,800千円 " （空家購入等資金金利補助） 25千円 ・空き家提供者への助成 100千円 ・受入自治会への助成 10千円 ○水産技術研修事業費補助金 30千円 京都府漁業士会の活動経費への助成 補助率：1/2以内 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	300	地方創生推進交付金(1/2)
	府支出金	962	京都移住促進事業費補助金(1/2)	86
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,733		

担当課	水産課	課長名	中井 哲也	内線番号	1210
-----	-----	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 86

事業名	漁港施設長寿命化事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	26,250 千円			予算書	196 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>舞鶴市が管理する漁港において、老朽化によって更新等が必要な漁港施設を対象に、計画的に修繕等を行うことで、施設の長寿命化を図り、今後必要となる更新コストの縮減や平準化を図る。</p>
事業の内容	<p>○漁港施設長寿命化事業 漂砂等による砂の堆積により漁船等船舶の停泊や操船に必要な水深が確保されていない漁港施設（泊地）の保全を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 竜宮浜漁港（三浜地区） 測量設計（漂砂解析、構造物設計等） <p>※全体計画（令和4年～6年） 令和4年度 測量設計（漂砂解析、構造物設計等） 令和5年度 工事(防砂突堤整備) 令和6年度 工事(防砂突堤整備、浚渫)</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	16,666	水産物供給基盤機能保全事業費補助金(2/3)	86
	地方債	7,400	水産業債	110
	その他	1,312	漁港施設長寿命化事業費分担金	56
	一般財源	872		

担当課	水産課	課長名	中井 哲也	内線番号	1210
-----	-----	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 87

事業名	漁港海岸保全対策事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	93,057 千円			予算書	196 頁	
				事業区分	新規・拡大 (継続)	

事業の目的	<p>舞鶴市管理の海岸において、台風や冬季風浪による波浪から海岸を防護し、越波による砂浜の侵食や背後住家を保全する。 また、海岸や漁港に漂流・漂着するごみの回収・処分を行い、海洋環境や優れた景観を維持・保全することによって、観光や漁業など漁港海岸の利用者に快適な環境を提供する。</p>
事業の内容	<p>○竜宮浜漁港海岸保全対策事業 87,257千円 ・三浜地区：2号離岸堤の嵩上げ L=25m 消波ブロックの製作・設置 ・小橋地区：かごマットの製作設置他 L=12m</p> <p>○海岸漂着物の回収・処分 5,800千円 ・漁港海岸(野原、竜宮浜、瀬崎、田井)及び漁港の漂流・漂着ごみの回収・処分</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	40,000	農山漁村地域整備交付金(1/2)	70
	府支出金	17,243	海岸保全施設整備事業費補助金(1/6) 海岸漂着物等地域対策推進事業補助金(7/10、10/10)	86
	地方債	28,200	水産業債	110
	その他	2,610	海岸保全施設整備事業費分担金	56
	一般財源	5,004		

担当課	水産課	課長名	中井 哲也	内線番号	1210
-----	-----	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 88

事業名	舞鶴漁港整備事業費負担金					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	32,000 千円			予算書	196 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	京都府が事業主体として行う舞鶴漁港の機能保全に係る整備事業について、舞鶴市が事業費の一部を負担し、京都府との連携のもと事業の促進を図る。					
	○舞鶴漁港整備事業費負担金（負担率20%） ・漁港機能保全事業 160,000千円 伊佐津川泊地 浚渫工事					
事業の内容	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	28,800	水産業債			110
	その他	-				
財源内訳	一般財源	3,200				
担当課	水産課		課長名	中井 哲也		内線番号 1210

令和4年度 主な事務事業調

No. 89

事業名	地域資源を活かしたエリアブランディング事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	5,937 千円			予 算 書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴の”タカラモノ”となる豊富な地域資源を、点から面へとつなげることによりエリアの魅力を高め、来訪者が増えることで市民がエリアの価値に気づき、さらなる地域活性化や誇りにつながる取組を進める。令和4年度はビヨンド・コロナ社会を見据え、海水浴場の再開が望まれる海浜エリアやみなとオアシス推進と連携する城下町エリアなどで、地域や関係機関と協同した観光まちづくりを展開する。					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市内3海水浴場（5地区）の環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・神崎、野原、竜宮浜海水浴場 ○海水浴シーズンを中心とした海浜エリアプロモーション ○みなとオアシス推進による西地区城下町エリアのブランディング <ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客のための城下町エリアイベント開催 ・西港を発着とする遊覧船のトライアル運行 など 				
財源内訳		区 分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	5,937				
担当課	観光振興	課	課長名	山内 勇輔	内線番号	1261

事業名	舞鶴ブランドプロモーション事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	7,622 千円			予算書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>「赤れんが」「海・港」を核としたまいつる観光ブランド戦略を踏まえ、多様なメディアによる情報発信や魅力あるテーマのツーリズムを造成することにより、舞鶴イメージの価値を高め、地域資源のブランド化を推進し、交流人口のさらなる拡大と観光消費の増大を図る。</p>				
	事業の内容	<p>○舞鶴ブランドプロモーション ・パブリシティプロモーションによるメディアを活用した情報発信 ・各種商談会や観光フェアへの出展 など</p> <p>○多様なコンテンツツーリズムによる観光誘客 ・ロケ地フェア等によるテレビ番組や映画のロケ誘致 ・軽音楽コンテストなどの音楽イベント誘致 ・アニメ聖地の認定などによるイベント誘致 など</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	7,622			
担当課	観光振興	課	課長名	山内 勇輔	内線番号 1261

事業名	みなとオアシス登録推進事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	1,320 千円			予算書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、令和4年度の京都舞鶴港の「みなとオアシス」登録に向けた取り組みを進めるとともに、登録後の賑わいの創出に係る検討や課題の抽出を進める。</p> <p>【みなとオアシス】 地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくり促進のため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設（海浜・旅客ターミナル・広場など）として、国土交通省港湾局長から認定された交流拠点</p>
	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内関係団体で構成する「みなとオアシス連絡会議」の開催や、コーディネーターを招聘し「みなと」を核としたまちづくりに向けた検討 ・他港の「みなとオアシス」現地視察 ・「みなとオアシス」登録記念イベントの開催 ・「みなと」の賑わい創出に関するシンポジウム開催 ・京都舞鶴港の「みなとオアシス」登録を周知するための広報活動 ・「みなとオアシス」における賑わい創出に向けた実証実験

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	500	きょうと地域連携交付金(1/2)	86
	地方債	-		
	その他	200	雑入(日本海にぎわい・交流海道ネットワーク活動支援費)	108
	一般財源	620		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	小島 宏	内線番号	1250
-----	--------------	-----	------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 92

事業名	観光周遊推進事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	12,490 千円			予算書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>旅行スタイルやニーズの多様化、訪日外国人旅行者に対応するため、観光情報の集約・発信の拠点となる観光案内所での対面案内及び電話対応、インターネット・SNSの活用による情報発信等の運営を支援する。これにより、旅行者等の満足度を高め、周遊観光や観光消費の増加を促す。</p> <p>また、おもてなしの心による満足度の高い観光の実現を目指し、観光客の周遊を促進する観光ガイドなどの人材を育成する。</p>					
	事業の内容	<p>○観光案内所運営補助金 京都府北部地域連携都市圏振興社舞鶴地域本部（舞鶴観光協会）が運営するJR西舞鶴駅観光案内所（まいづる観光ステーション）への補助</p> <p>○まいづる観光講座の実施 舞鶴YMCA国際福祉専門学校国際観光ビジネス学科と連携し、市民向けの舞鶴観光講座を実施</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	-				
	府支出金	100	きょうと地域連携交付金(1/2)	86		
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	12,390				
担当課	観光振興	課	課長名	山内 勇輔	内線番号	1261

事業名	ふるさと納税による新事業創出支援事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	6,420 千円			予算書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的
市が重視する地方創生や地域活性化に資する分野において、市内事業者が新たに企画実施する事業プロジェクトに対し、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して資金調達を支援することで、事業者の起業、新商品開発、販路開拓などの意欲的な取組を促す。

事業の内容
市（選定委員会）で認定した事業プロジェクトをポータルサイトに掲載して寄附を募集。集まった寄附金を財源として事業者へ奨励金を交付する。

事業の流れ（予定）

```

    graph TD
      M[舞鶴市]
      S[市内事業者]
      D[寄附者]
      R[寄附者の居住自治体]

      S -- ①事業プロジェクト募集 --> M
      M -- ②応募 --> S
      M -- ④審査結果の通知 --> S
      M -- ⑦奨励金の交付 --> S
      S -- ⑧事業着手、完了 --> S

      M -- ⑤寄附の募集(サイト掲載) --> D
      D -- ⑥寄附(ふるさと納税) --> M
      R -- ⑤寄附の呼び掛け --> D
      R -- ⑨返礼実行 --> D
      D -- ⑨住民税控除 --> R
      M -- ⑤寄附 --> R
  
```

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	300	地方創生推進交付金(1/2)	70
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	5,769	ふるさと応援寄附金(クラウドファンディング型)	96
	一般財源	351		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	仲川 真広	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

事業名	まいづる産品ブランド力向上事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	6,000 千円			予 算 書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	ビヨンド・コロナ社会を見据え、年々寄付額が増加するふるさと納税の返礼品や土産品などのまいづる産品のブランド力向上を促進するため、新たな商品開発や情報発信力の強化などに取り組む市内事業者を支援する。					
	事業の内容	○まいづる産品ブランド力向上支援補助 ・補助対象：まいづる産品を製造・販売する市内事業者 ・対象経費：まいづる産品の開発、提供するための資材等の製作情報発信強化にかかる費用等 ・補助率等：1/2（補助限度額1社あたり50万円） ○まいづる産品開発等アドバイザー業務委託 ・内容：各種セミナーやマッチング、個別相談業務の実施				
財源内訳		区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	3,000	地方創生推進交付金(1/2)	70		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	3,000	ふるさと応援寄附金	96		
	一般財源	-				
担当課	観光振興	課	課長名	山内 勇輔	内線番号	1261

事業名	未来にはばたけ！頑張る事業者応援プロジェクト事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	23,270 千円			予算書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	<p>ビヨンド・コロナ社会を見据えた地域経済の活性化を図るため、舞鶴商工会議所、地元金融機関、関係団体と連携し、創業、事業拡大、事業継承といった事業者の各ステージに対応した支援を行うことで、頑張る事業者の育成を図るとともに、地域の特色を活かした東西まちなかの活性化を支援する。</p>
事業の内容	<p><u>1. 創業応援事業、市内事業者育成・支援事業</u> ビヨンド・コロナ時代を生き残ることができる事業者の育成のため、創業を目指す人を対象とした創業交流カフェや起業ノウハウを習得するセミナー、経営戦略セミナー等を開催</p> <p><u>2. 地域課題解決型ビジネスモデル支援補助金</u> 自社発展のみならず、地域経済への好波及を条件に、ビヨンド・コロナを見据えた社会的変化に対応した新事業や、地域課題解決につながる新事業を展開する事業者への支援 ○補助率：2/3 ○補助額：上限300万円×5件</p> <p><u>3. まちなかエリア活性化補助金</u> まち全体の魅力アップにつながることを条件に、まちなかエリアの空店舗等を活用したサテライトオフィスやギャラリー、アートスペース、ワーケーション拠点等を出店する事業者を支援 ○補助率：2/3 ○補助額：上限100万円×5件</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	6,694	地方創生推進交付金(1/2)	70
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		16,576		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	仲川 真広	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 96

事業名	企業誘致実現プロジェクト事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	33,360 千円			予算書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	本市の地域経済の活性化を図るため、新規誘致とともに、既存の市内立地企業の新增設など発展的な事業を積極的に支援する。				
	事業の内容	<p>①働く場の創出企業立地促進補助（7,400千円） 働く場の創出補助金 3件</p> <p>②企業立地経営円滑化補助（23,650千円） 大口水道使用企業に対する水道料金の一部補助 4件</p> <p>③企業誘致推進対策事業（2,310千円） 新たな企業誘致のための情報収集、個別企業訪問の推進等</p>			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	7,400	電源立地地域対策基金繰入金		98
	一般財源	25,960			
担当課		産業創造・雇用促進 課	課長名	仲川 真広	内線番号 1212

事業名	国際交流活動推進費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	16,297 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>姉妹・友好都市であるロシア・ナホトカ市、中国・大連市、英国・ポーツマス市をはじめ、東アジア諸都市との、みなと・観光・文化・教育・産業など幅広い分野において、実り多い交流となるよう戦略的に施策を進める。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウズベキスタン人国際交流員の配置 ・大連市との友好都市提携40周年事業 ・ポーツマス市との姉妹都市提携25周年に向けた関係強化 ・各種代表団受入・派遣・オンライン交流 ・国際交流活動年次報告書の発行

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	16,297		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	小島 宏	内線番号	1250
-----	--------------	-----	------	------	------

事業名	ウズベキスタン人材育成支援事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	3,245 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>ウズベキスタン共和国リシタン地方との間で交わした人材育成交流に関する覚書に基づき、今後同国の経済発展に必要とされる優れた農業技術、産業技術、介護福祉の分野において市内関係機関の協力を得ながらウズベキスタンの人材育成や市内での就労を支援する。</p>
事業の内容	<p>1. 農業人材育成事業 ・職員及び茶栽培専門家の現地派遣 ・ウズベキスタン各地における試験栽培、茶苗木の輸送 ・ウズベキスタン国際協力機関訪問、協議</p> <p>2. 産業人材育成支援 対象者：近畿職業能力開発大学校京都校入校者 支援内容：来日渡航費及び入学支度金（15万円）の支給 生活費（1.5万円/月）の支給</p> <p>3. 介護人材育成支援 対象者：市内介護施設就労者 支援内容：来日渡航費及び就職支度金（15万円）の支給</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	3,245	ふるさと応援基金繰入金	98
	一般財源	-		

担当課	みなと振興・国際交流 福祉企画課	課長名	小島 宏 松本 諭一	内線 番号	1250 2290
-----	---------------------	-----	---------------	----------	--------------

事業名	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	35,420 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>日本海側拠点港としての機能である国際海上コンテナ、国際フェリー・国際RORO船、外航クルーズについて、目標の早期実現に向け、国・府・近隣市や関係団体等と連携し、名実ともに京都舞鶴港が日本海側の拠点港として確立されるよう、利用促進に取り組むとともに、コロナ禍で影響を受けた国内フェリーの旅客回復に向けた支援により、港湾都市・舞鶴における重要な海の交通インフラである国内フェリー航路の維持・発展を図る。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆国際フェリー航路の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・日韓露を結ぶ国際フェリー航路の充実に向けたPR活動 ◆国際クルーズの誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・小樽港、伏木富山港、境港、秋田港との連携による「環日本海クルーズ推進協議会」への参画 ・「京都舞鶴港クルーズ誘致協議会」によるクルーズ誘致活動及び受入体制の充実 ・旅行社等と連携した寄港地観光ルートの開発 ◆フェリー航路旅客の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により影響を受けている国内フェリーについて、旅客拡大に向けた支援を実施

区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
国支出金	9,400	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	70
府支出金	-		
地方債	-		
その他	-		
一般財源	26,020		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	小島 宏	内線番号	1250
-----	--------------	-----	------	------	------

事業名	京都舞鶴港振興会等補助金					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	62,600 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>京都舞鶴港は関西経済圏における日本海側の物流拠点であり、国や京都府により整備が進む港湾機能を最大限発揮できるように、関西経済圏におけるBCP（事業継続計画）やリダンダンシーとしての重要性を積極的にPRし、航路の活性化や集貨対策、東アジア諸国等との経済交流による創貨活動など、総合的な貿易振興策を講じる。</p>
	<p>京都舞鶴港の一層の貿易振興を図るため、航路の活性化や集貨対策等を積極的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ定期航路利用要請等のポートセールス ・セミナー開催や展示会出展等のPR活動 ・貿易情報の収集及び調査 ・東アジア諸国等との友好・経済交流の促進 ・航路の拡充およびトライアル利用の促進 ・コンテナ貨物等に対するインセンティブ補助

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	62,600		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	小島 宏	内線番号	1250
-----	--------------	-----	------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 101

事業名	地籍調査事業費					
費目	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費
事業費	44,632千円			予算書	204頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について、所有者、地番、地目、境界、面積の基礎的情報である地籍を明らかにし、その結果をとりまとめることにより、経済活動や行政活動の円滑化・効率化、災害復旧の迅速化及び市民の重要な土地資産の保全を図る。</p>
事業の内容	<p>○通常地籍調査 18,266千円 浜地区 0.11km² (新規) 街区境界調査、地籍細部測量、街区境界調査簿作成等 伊佐津地区 0.08km² 一筆地調査・測量 他</p> <p>○国土調査法19条5項指定による地籍整備 26,366千円 基準点測量、成果修正、19条5項指定申請 行永桜通り地区 1.27ha 伊佐津地区 0.85ha 北吸地区ほか 2.97ha</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	11,076	地籍整備推進調査費補助金(1/2)	70
	府支出金	13,472	国土調査費補助金(3/4)	86
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	20,084		

担当課	建設総務 都市計画	課	課長名	大槻 成雄 吉田 章洋 豊田 兼也 (住宅政策担当) 東山 直 岩田 宏幸	内線 番号	2330 2320 2370 2350 1361
-----	--------------	---	-----	--	----------	--------------------------------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 102

事業名	道路除雪対策事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路維持費
事業費	82,741 千円			予算書	206 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	「舞鶴市道路除雪計画」に基づき、バス路線や幹線道路等の除雪及び凍結防止剤の散布を実施し、冬季における安全で円滑な交通の確保を図る。			
	事業の内容	<p>【対象地域】 市内全域</p> <p>○除雪作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型除雪機によるバス路線を中心とした幹線市道等の除雪業務委託 ・小型除雪機の配備による周辺部の生活道路の除雪作業支援 <p>○凍結防止剤散布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凍結防止剤散布機による凍結防止業務委託 <p>○除雪機更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型除雪機 1台 (8t車) ・小型除雪機 11台 (トラクター式5台、ロータリー式6台) 		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	18,949	社会資本整備総合交付金(2/3) 除雪作業事務委託金	70・76
	府支出金	-		
	地方債	33,100	道路橋りょう債、辺地債	110
	その他	593	雑入(除雪機賃料)	108
	一般財源	30,099		
担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号 2350

令和4年度 主な事務事業調

No. 103

事業名	交通安全推進事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
事業費	62,900 千円			予算書	208 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>子供、高齢者などの交通弱者や自転車が、安全で安心して通行できる道路整備を進め、快適で安全・安心なまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>○歩道の整備や交差点改良等を推進 [対象路線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸山通線（丸山口町） 交差点改良 ・宮下谷口線、上良大將軍線（公文名） 歩道設置 <p>○通学路の交通安全対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜白鳥線に車線誘導標や路面標示等の安全対策を実施 <p>○ガードレール、区画線、道路照明など道路安全施設を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全域

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	27,225	社会資本整備総合交付金(5.5/10)	70
	府支出金	-		
	地方債	22,200	道路橋りょう債	110
	その他	-		
	一般財源	13,475		

担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号	2350
-----	-----	-----	-----	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 104

事業名	幹線道路整備事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
事業費	219,000 千円			予算書	208 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	国道や府道を補完する幹線市道の整備を進め、本市の経済の活性化及び交通の円滑化と安全性の向上を図る。				
	<p>[対象路線]</p> <ul style="list-style-type: none"> 和泉通線（森本町） 拡幅改良 計画総延長350m 引土境谷線（伊佐津、境谷） 拡幅改良 計画総延長670m 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	109,405	社会資本整備総合交付金(1/2、5.5/10)	70	
	府支出金	-			
	地方債	89,600	道路橋りょう債	110	
	その他	5,000	都市開発推進基金繰入金	98	
	一般財源	14,995			
担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号	2350

令和4年度 主な事務事業調

No. 105

事業名	地域間連絡道路整備事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	35,000 千円			予算書	208 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	周辺地域と市街地等を結ぶ道路の整備を推進し、地域の振興や、定住環境の向上を図る。			
	[対象路線] 別所岸谷線（上根） 法面对策			
事業の内容	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	35,000	辺地債	110
	その他	-		
	一般財源	-		
担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号 2350

令和4年度 主な事務事業調

No. 106

事業名	防衛施設周辺整備事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
事業費	5,000 千円			予算書	208 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	防衛省の交付金を活用して、狭あい道路の改良や歩道の整備などを行い、安全、安心に暮らせるまちづくりを推進する。				
	[対象路線] ・男子校下通線（余部上） 歩道改良				
事業の内容	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書	
	国支出金	3,000	特定防衛施設周辺整備調整交付金（定額）	70	
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	2,000			
担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号	2350

令和4年度 主な事務事業調

No. 107

事業名	道路施設長寿命化事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	153,000 千円			予算書	208 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	道路施設の長寿命化修繕計画に基づく点検や修繕工事を実施し、将来にわたるトータルコストの縮減や平準化を図る。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○トンネル長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕 (点検) 瀬崎、上・下佐波賀、千歳、大丹生トンネル (修繕) 平トンネル照明施設更新(LED化)工事 ○舗装長寿命化修繕計画策定業務(西地区) ○舗装修繕工事(東地区) <ul style="list-style-type: none"> ・朝日通線 ・田中東高線他

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	10,650	社会資本整備総合交付金(1/2) 道路メンテナンス事業補助金(5.5/10)
	府支出金	-		
	地方債	131,000	道路橋りょう債	110
	その他	-		
	一般財源	11,350		

担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号	2350
-----	-----	-----	-----	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 108

事業名	橋りょう長寿命化事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	橋りょう費
事業費	154,880 千円			予算書	208 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検や修繕工事を実施し、将来にわたるトータルコストの縮減や平準化を図る。				
	事業の内容				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕 <ul style="list-style-type: none"> (点検) 195橋 (修繕) 大輪橋、打越橋他 (更新) 大橋 (高野川河川改修に伴う架替え負担金) ○舞鶴高専との共同研究等 				
	財源内訳				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	78,540	道路メンテナンス事業補助金(5.5/10)	72	
	府支出金	-			
	地方債	43,900	道路橋りょう債	110	
	その他	7,000	都市開発推進基金繰入金	98	
一般財源		25,440			
担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号	2350

事業名	＜概要版＞東西市街地の浸水対策事業について		
費目	一般会計（土木費）及び下水道事業会計		
事業費	727,616 千円	予算書	— 頁
		事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	東西市街地の浸水対策事業として、浸水被害の軽減を図る事を目的に総合的な治水対策を実施し、安全・安心なまちづくりを推進する。		
	事業の内容	《雨水処理対策：下水道事業会計706,710千円》No.141 ◆西地区浸水対策事業 京都府の高野川整備事業と連携し、内水排除ポンプを整備し浸水被害の軽減を図る。 ◆東地区浸水対策事業 雨水管理総合計画を踏まえ、浸水被害が多い区域の設計業務を実施する。 《市街地浸水対策：一般会計20,906千円》No.110 ◆逆流防止施設設置工事 高野川や支川から排水路等を通じた市街地内への逆流を防ぐため、排水路の吐出口に逆流防止施設を設置する。 ◆宅地嵩上げ助成制度 東西市街地の対象区域において、住宅等の地盤の嵩上げを行う者に対して、その費用の一部を助成する。 ◆雨水貯留施設（マイクロ呑龍）補助制度 西市街地の対策区域において、個人で設置する雨水貯留施設費用の一部を補助する。 ◆逆流防止施設等保守 西浸水対策事業区域において設置した逆流防止施設及び水位計の保守等を行う。 ◆排水ポンプ車維持管理 排水作業に備えて、市所有の排水ポンプ車の維持管理を行う。	

担当課	下水道整備 土木	課	課長名	中地 俊元 岡野 恭憲 (浸水対策担当) 東山 直	内線 番号	2220 2230 2350
-----	-------------	---	-----	------------------------------------	----------	----------------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 110

事業名	浸水対策事業費				
費目	款	土木費	項	河川費	目 河川総務費
事業費	20,906 千円			予算書	210 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>東西市街地の浸水対策事業として、浸水被害の軽減を図る事を目的に総合的な治水対策を実施し、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆逆流防止施設設置工事 高野川や支川から排水路等を通じた市街地内への逆流を防ぐため、排水路の吐出口に逆流防止施設を設置する。 ◆宅地嵩上げ助成制度 東西市街地の対象区域において、住宅等の地盤の嵩上げを行う者に対して、その費用の一部を助成する。 ◆雨水貯留施設（マイクロ呑龍）補助制度 西市街地の対象区域において、個人で設置する雨水貯留施設費用の一部を補助する。 ◆逆流防止施設等保守 西浸水対策事業区域において設置した逆流防止施設及び水位計の保守等を行う。 ◆排水ポンプ車維持管理 排水作業に備えて、市所有の排水ポンプ車の維持管理を行う。

財源内訳	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	50	下水道防災事業費補助金(1/3)
府支出金	1,050	きょうと地域連携交付金(1/2) 雨水貯留施設設置事業費補助金(1/3)	86
地方債	16,900	河川債	110
その他	-		
一般財源	2,906		

担当課	下水道整備	課	課長名	中地 俊元 岡野 恭憲 (浸水対策担当) 東山 直	内線 番号	2220 2230 2350
	土木					

令和4年度 主な事務事業調

No. 111

事業名	河川整備事業費				
費目	款	土木費	項	河川費	目 河川総務費
事業費	78,500 千円			予算書	210 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>浸水被害を引き起こしている箇所への河川整備及び浚渫を行い、安全で災害に強いまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>[対象地域]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎川 (余部上) 護岸改修 ・静溪川 (公文名) 護岸改修 ・小倉川 (小倉) 浚渫 ・高欠川 (真壁) 浚渫 他 <p>(豊かな森を育てる府民税市町村交付金分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野村寺地区水路 治山施設下流水路整備 ・城屋地区水路 治山施設下流水路整備

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,000	豊かな森を育てる府民税市町村交付金(定額)	86
	地方債	64,000	河川債	110
	その他	10,000	都市開発推進基金繰入金	98
	一般財源	2,500		

担当課	土木課	課長名	東山 直 坂根 久喜	内線 番号	2350 1240
-----	-----	-----	---------------	----------	--------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 112

事業名	国・府河川整備促進事業費					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	6,527 千円			予算書	210 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>国や府の水防災事業の効果を発揮させるため、水害時の内水をスムーズに排出させるための水路整備を実施し、安全・安心な生活環境づくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>○志高排水路の整備費 地域内に発生した雨水等をスムーズに排出させるための水路整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水路設置、法面保護工

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	5,000	河川債	110
	その他	-		
	一般財源	1,527		

担当課	国・府事業推進 課	課長名	白木 治彦	内線番号	3440
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 113

事業名	急傾斜対策等促進事業費負担金				
費目	款	土木費	項	河川費	目 河川総務費
事業費	20,000 千円			予算書	210 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>市民の生命と財産を守るため、京都府が行う急傾斜地崩壊対策事業について、舞鶴市が事業費の一部を負担し、京都府との連携のもと、着実な事業の整備促進を図る。</p>												
事業の内容	<p>○急傾斜地崩壊対策等事業費負担金</p> <p>[負担額] 20,000千円</p> <p>[実施地区]</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>志高</td> <td>15,000千円</td> <td>(負担率10%)</td> </tr> <tr> <td>大波下</td> <td>1,500千円</td> <td>(負担率5%)</td> </tr> <tr> <td>八反田南</td> <td>500千円</td> <td>(負担率5%)</td> </tr> <tr> <td>上安久</td> <td>3,000千円</td> <td>(負担率10%)</td> </tr> </table>	志高	15,000千円	(負担率10%)	大波下	1,500千円	(負担率5%)	八反田南	500千円	(負担率5%)	上安久	3,000千円	(負担率10%)
志高	15,000千円	(負担率10%)											
大波下	1,500千円	(負担率5%)											
八反田南	500千円	(負担率5%)											
上安久	3,000千円	(負担率10%)											

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	18,000	河川債	110
	その他	-		
一般財源		2,000		

担当課	国・府事業推進 課	課長名	白木 治彦	内線番号	3440
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 114

事業名	京都舞鶴港整備事業費負担金					
費目	款	土木費	項	港湾費	目	港湾対策費
事業費	55,000 千円			予算書	212 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>京都舞鶴港の物流機能向上のため、多目的国際ターミナルとなる舞鶴国際ふ頭、臨港道路等の早期整備を国及び京都府と緊密に連携しながら促進する。</p>
事業の内容	<p>臨港道路和田下福井線の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁上部工（床板工、舗装等） ・道路工（舗装、安全施設等）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	-	
	府支出金	-		
	地方債	55,000	港湾債	110
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	小島 宏	内線番号	1250
-----	--------------	-----	------	------	------

事業名	まちづくり推進事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
事業費	80,710 千円			予算書	214 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	歴史・景観等の地域資源を活かした利便性の高い魅力あるまちづくりを推進する。					
	事業の内容					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○西舞鶴駅西口駅前広場整備事業費 78,210千円 詳細設計、用地取得に係る費用等 ○伝統的建造物群保存対策事業費 2,500千円 建物調査及び報告書作成に係る費用等 					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	28,280	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 都市構造再編集集中支援事業交付金(1/2)	72		
	府支出金	625	京都府重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(1/4)	86		
	地方債	23,200	都市計画債	110		
	その他	-				
	一般財源	28,605				
担当課	都市計画	課	課長名	吉田 章洋	内線番号	2320

事業名	まちなかエリア定住促進事業補助金				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 都市計画総務費
事業費	1,500 千円			予 算 書	214 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	まちなかへの居住を誘導するため、空き家を活用した定住を促進する。																											
事業内容	<p>立地適正化計画に基づく、居住誘導区域内で、空き家情報バンク制度を通じて空き家を購入もしくは賃借する者が実施する空き家住宅の改修費用に対し、その費用の一部を助成する。また、空き家情報バンク制度の空き家提供者に対して、契約成立時に家財道具等撤去費用を補助する。</p> <p>1. まちなかエリア定住促進空き家再生事業 (1,000千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">補助対象者の区分</th> <th colspan="2">補助率 (対象は住宅改修費)</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者</td> <td rowspan="2">空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合</td> <td>購入の場合</td> <td rowspan="2">2分の1以内</td> <td>60万円</td> </tr> <tr> <td>賃借の場合</td> <td>36万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記以外の者</td> <td>購入の場合</td> <td rowspan="2">4分の1以内</td> <td>30万円</td> </tr> <tr> <td>賃借の場合</td> <td>18万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者</td> <td>購入の場合</td> <td rowspan="2">2分の1以内</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>賃借の場合</td> <td>60万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. まちなかエリア定住促進空き家流動化促進補助金 (500千円) 空き家提供者に対する契約成立時の補助金 1件当たり100,000円</p>				補助対象者の区分		補助率 (対象は住宅改修費)		限度額	空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者	空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合	購入の場合	2分の1以内	60万円	賃借の場合	36万円	上記以外の者	購入の場合	4分の1以内	30万円	賃借の場合	18万円	空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者	購入の場合	2分の1以内	100万円	賃借の場合	60万円
補助対象者の区分		補助率 (対象は住宅改修費)		限度額																								
空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者	空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合	購入の場合	2分の1以内	60万円																								
		賃借の場合		36万円																								
	上記以外の者	購入の場合	4分の1以内	30万円																								
		賃借の場合		18万円																								
空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者	購入の場合	2分の1以内	100万円																									
	賃借の場合		60万円																									

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,500		
担当課	都市計画	課	課長名 吉田 章洋	内線番号 2320

令和4年度 主な事務事業調

No. 117

事業名	西舞鶴道路整備等促進事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
事業費	11,652千円			予算書	214頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>現在、国において実施されている国道27号西舞鶴道路の整備促進を図るとともに、市において関連する道路等の検討を進め、安全で円滑な道路整備による活力あるまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>○西舞鶴道路整備等促進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道27号西舞鶴道路の整備促進 ・その他国事業の促進 <p>伊佐津川荘苑地区境界確定業務 L=100m 1,500千円 京田地区境界確定業務 L=130m 1,500千円 山崎2号・3号線道路改修工事 L=165m 6,000千円 米田川逆流防止施設設置工事 1,500千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	7,500	都市計画債	110
	その他	-		
	一般財源	4,152		

担当課	国・府事業推進課	課長名	白木 治彦	内線番号	3440
-----	----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 118

事業名	府道小倉西舞鶴線等改良促進事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
事業費	18,212 千円			予算書	214 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	東西市街地を最短距離で結び、東西市街地の一体化による活力あるまちづくりに不可欠な府道小倉西舞鶴線について、4車線化事業を促進する。
事業の内容	<p>○府道小倉西舞鶴線等改良促進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉谷工区の4車線化事業の促進 4車線化区間320mの道路築造・舗装工事及び電線共同溝設置工事の促進

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	16,500	都市計画債	110
	その他	-		
	一般財源	1,712		

担当課	国・府事業推進 課	課長名	白木 治彦	内線番号	3440
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 119

事業名	都市公園整備事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	公園費
事業費	41,500 千円			予算書	216 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>市民の憩いの場である都市公園において、「舞鶴市公園施設長寿命化計画」に基づき施設の改築・更新を行うことにより、安全で安心な公園管理に努める。</p> <p>また、公園施設の長寿命化計画改定を行う。</p>				
事業の内容	<p>[舞鶴市公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 匂崎公園園路舗装更新工事（下安久） ・ 匂崎公園照明施設更新工事（下安久） ・ 引揚記念公園照明施設更新工事（平） ・ 都市公園長寿命化計画改定業務委託 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	20,000	社会資本整備総合交付金(1/2)	72	
	府支出金	-			
	地方債	14,800	都市計画債	110	
	その他	-			
	一般財源	6,700			
担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号	2350

令和4年度 主な事務事業調

No. 120

事業名	非強制徴収債権未収金回収経費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費
事業費	2,588 千円			予算書	218 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>市営住宅等の家賃を滞納したまま退去し、その後請求しても納付されないまま長期間が経過した回収困難な家賃について、回収業務を弁護士法人に委託し、回収を図る。</p> <p>また、回収できなかった債権のうち、時効期間を経過した債権については、不納欠損の判断を行うなど、債権管理の適正化を図り、今後の管理費用を削減する。</p>
	<p>滞納家賃の回収を弁護士法人に委託 対象：市営住宅等の退去者に係る滞納家賃 ただし、分割での納付を約束しており、分納計画どおりに納入している者に係る滞納家賃を除く</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	2,588	住宅使用料(滞納繰越分)	62
	一般財源	-		

担当課	都市計画課	課長名	吉田 章洋 豊田 兼也 (住宅政策担当)	内線 番号	2320 2370
-----	-------	-----	----------------------------	----------	--------------

事業名	公営住宅改善事業費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅建設費
事業費	74,012 千円			予算書	218 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	第2期舞鶴市公営住宅等長寿命化計画に基づき、継続して管理する中層建物の建物躯体の長寿命化を図る。 また、建替と集約化を組み合わせた適切なストックマネジメント及び継続的な事業展開を図る。				
	〇既設公営住宅改善事業 ・外壁長寿命化工事（白鳥団地6号棟） ・長浜団地除却工事（1棟4戸分） ・上安団地除却工事（1戸） ・城北団地駐車場整備工事（12台分）				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書	
	国支出金	26,154	社会資本整備総合交付金（4.5/10）	72	
	府支出金	-			
	地方債	47,500	住宅債	110	
	その他	-			
	一般財源	358			
担当課	都市計画	課	課長名	吉田 章洋 豊田 兼也 (住宅政策担当)	内線 2320 番号 2370

事業名	団員報酬				
費目	款	消防費	項	消防費	目 非常備消防費
事業費	46,678 千円			予算書	220 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的
 消防団は地域の消防防災体制の中核的役割を果たす存在だが、消防団員の減少が続いており、このままでは地域防災力が低下し、ひいては地域住民の生命・身体・財産の保護に支障をきたすおそれがある。
 消防団員の減少をくい止めるためにも、消防団員の士気向上や家族等の消防団活動への理解を得るため、年額報酬・出動報酬額を国の基準相当額まで引き上げるなど処遇改善を図る。

事業内容

○ 団員報酬

1 年額報酬
 国基準額に準じた額に改正 (円)

	団長	副団長	部長	班長	団員
改正前	72,000	40,000	28,000	22,000	16,000
改正後	72,000	45,500	37,000	37,000	36,500

2 出動報酬
 これまでの出動手当（費用弁償）から出動報酬に改め、災害活動（時間）に応じた支給額となるよう改正 (円)

改正前	出動手当		災害以外の出動手当		
	5時間未満	5時間以上	警戒	警備	訓練
	2,000	5,000	2,000	1,000	1,000
改正後	出動報酬		災害以外の出動報酬		
	2時間未満	2時間以上	警戒	警備	訓練
	2,000	2,000円+1時間ごとに1,000円加	2,000	1,000	1,000

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	46,678		

担当課	消防総務課	課長名	谷直樹 (消防団担当)	内線番号	9102
-----	-------	-----	----------------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 123

事業名	京都府中・北部地域消防指令センター整備事業費				
費目	款	消防費	項	消防費	目 消防施設費
事業費	173,200 千円			予算書	222 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>将来にわたって持続可能な消防指令体制を維持するため、国が示す「市町村の消防の連携・協力の基本指針」に基づき、京都府中・北部地域の6消防本部により消防指令センターを共同で整備するもの。</p>
事業の内容	<p>■ 京都府中・北部地域消防指令センター</p> <p>【整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設置場所：福知山市消防本部 ○ 運用開始予定：令和6年4月 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共同指令システム整備事業 ○ 庁舎改修事業 (福知山市消防本部庁舎) ○ 京都府中・北部地域消防指令事務協議会事務費 ※ それぞれ6消防本部による按分率に基づき負担するもの <p>【参考】 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4～5年度 消防指令センター改築工事 (2カ年事業) 高機能消防指令システム導入 令和6年度 既存指令室等改修工事

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	173,200	消防債	110
	その他	-		
一般財源		-		

担当課	警防課	課長名	城代 謙一 (指令担当)	内線番号	9521
-----	-----	-----	-----------------	------	------

事業名	消防施設整備事業費					
費目	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費	148,583 千円			予算書	222 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>災害対応能力の維持向上のため、配備後長年月が経過し老朽化している西消防署の指令車、消防団の小型動力ポンプ付積載車の更新及び機動力の高い小型動力ポンプ搬送車を整備する。</p> <p>また、近年の長期化する大規模災害にも対応可能な防災拠点とするため、東消防署に連続運転可能な自家発電設備の導入や、長時間非常用電源を確保するためにLED照明等の高効率な電気設備更新を行うことで、災害対応能力の強化を図る。</p>
事業の内容	<p>○消防ポンプ自動車等購入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指令車 1台 ・小型動力ポンプ付積載車（非常備消防） 1台 <p>○小型動力ポンプ機動力化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプ搬送車（非常備消防） 4台 <p>○東消防署の災害対応能力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東消防署設備更新等工事（自家発電設備等）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	146,300	消防債、辺地債	110
	その他	-		
一般財源		2,283		

担当課	警防 消防総務	課	課長名	野里常 徹 千原 英樹	内線 番号	9521 9101
-----	------------	---	-----	----------------	----------	--------------

事業名	西消防署整備事業費					
費目	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費	117,000 千円			予算書	222 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>西消防署は建築から37年が経過し、経年による老朽化、多様化する災害に対応するための車両や資機材の配置による庁舎のキャパシティ不足及び洪水浸水想定エリアに立地していることなどから、庁舎の移転を計画している。</p> <p>常備・非常備消防が時代に即した消防訓練が行える訓練施設の整備も必要であることから、これらをふまえ、人員・機械器具の配置や組織・庁舎再編（中出張所と統合し東西2署体制）を見据えた新たな防災拠点として、西消防署の整備に係る実施設計を行う。</p> <p>また、今回の整備においては、再生可能エネルギーの導入により、環境負荷の軽減、分散型エネルギー供給拠点の形成、エネルギーの自給自足による防災体制の強化を検討しており、その可能性調査を実施する。</p>					
	<p>○ 再生可能エネルギーを利用した西消防署整備の実現可能性調査及び実施設計委託</p>					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	117,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金(定額)			72
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
一般財源		-				
担当課	消防総務 資産マネジメント推進 生活環境		課	課長名	千原 英樹 岩田 宏幸 大谷 美香	内線 番号 9101 1361 1295

令和4年度 主な事務事業調

No. 126

事業名	ハザードマップ作成事業費					
費目	款	消防費	項	消防費	目	災害対策費
事業費	15,000 千円			予算書	222 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	洪水時の住民の的確な避難行動につなげ、被害を最小限に食い止めることを目的に、洪水ハザードマップを作成する。 京都府が公表する想定最大規模（おおむね1,000年に一度の大雨）の浸水想定に基づき、平成29年度に「由良川洪水ハザードマップ」、令和2年度に「東西市街地洪水ハザードマップ」を作成しており、今回をもって想定最大規模に基づく洪水ハザードマップの作成が完了する。					
	事業の内容	○対象河川 由良川支流（岡田川、桧川、久田美川など 計15河川） 野原川、瀬崎川、大丹生川、寺田川、池の内下川				
○公表方法 流域内の自治会に配付 市のホームページに掲載						
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書		
	国支出金	7,500	社会資本整備総合交付金（1/2）	72		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	7,500				
担当課		危機管理・防災 課	課長名	梅川 正	内線番号	2561

令和4年度 主な事務事業調

No. 127

事業名	自主防災組織づくり推進経費					
費目	款	消防費	項	消防費	目	災害対策費
事業費	894 千円			予算書	224 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	地域における自助・共助の取組を強化するため、出前講座の実施や、地域の防災活動のリーダー人材となり得る「防災士」の養成を行い、自主防災組織の組織率向上と機能強化を図る。				
	事業の内容	【事業内容】 ○出前講座の実施 ○防災パンフレット等印刷 ○防災士養成講座の開催 開催時期 令和4年10月（土・日の2日間を予定） 開催場所 まなびあむ 協力機関 舞鶴工業高等専門学校 受講対象者 舞鶴市民（定員：33名）			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-			
	府支出金	200	きょうと地域連携交付金（1/2）	88	
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		694			
担当課	危機管理・防災 課	課長名	梅川 正	内線番号	2561

令和4年度 主な事務事業調

No. 128

事業名	校務系ネットワーク整備事業費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	156,660 千円			予算書	226 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>教職員が児童生徒の成績情報等の管理を行う校務系ネットワークシステムが更新時期を迎えることから、セキュリティを確保しながらクラウド環境を取り入れた効率的なシステムに更新することで、教職員が子ども達と向き合う時間を創出し、教職員の資質能力の向上や質の高い教育環境づくりを目指す。</p>
事業の内容	<p>1. 校務系ネットワークシステム更新 昨年度整備した学習系ネットワークとの連携を図りつつ、セキュリティを確保しながらクラウド環境を活用したネットワーク環境の整備 ・システム構築／設備整備 ・セキュリティ対策 ・機器設定費用等 133,000千円</p> <p>2. 校務系パソコン等更新 教職員が校務において使用するパソコン等の機器の更新 ・教職員用端末 約700台等（リース） 23,660千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	156,660	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)	72
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	学校教育課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	-------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 129

事業名	不登校支援等推進経費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	22,344 千円			予算書	226 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>心理的要因等により不登校となっている児童・生徒に対し、教育支援センター明日葉(あしたば)において、集団生活への適応、学力の補充及び基本的な生活習慣の改善等のための相談、適応指導を行い、学校生活への復帰と社会的自立を支援する。また京都府認定フリースクール(聖母の小さな学校)へ引き続き支援を行うとともに、さらなる連携を図り、不登校対策に取り組む。</p> <p>いじめ問題に積極的に対応するため、いじめ相談室での24時間体制のいじめ相談ダイヤルやメール相談に加え、SNSを活用した相談窓口の設置など、きめ細かな相談・対応を行う。また、いじめ・不登校事業において専門的知見を必要とする困難事例に対処するため、教育支援センターにカウンセラー(臨床心理士)を配置し、問題解決に取り組む。</p>					
	事業の内容	<p>1 教育支援センターの概要 (1)事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校・いじめに係る相談や学習指導、訪問指導 ・支援強化のための支援員を年度当初から配置 ・カウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリング <p>(2)場所 字北吸(旧大学連携センター)</p> <p>2 チャレンジアウトドアライフ事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒を対象とした野外体験活動の実施 <p>3 いじめ相談ダイヤル・メールによる相談受付</p> <p>4 SNSによる相談窓口の設置</p> <p>5 京都府認定フリースクール(聖母の小さな学校)連携推進事業の実施</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	8,110	地方創生推進交付金(1/2)		72	
	府支出金	530	教育支援体制整備事業補助金(1/3)		88	
	地方債	-				
	その他	6,851	ふるさと応援寄附金		96	
	一般財源	6,853				
担当課	学校教育課	課長名	森下 敏宏		内線番号	2430

令和4年度 主な事務事業調

No. 130

事業名	施設整備事業費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校管理費
事業費	102,760 千円			予算書	230・234 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>学校施設は次代を担う児童生徒の学習・生活の場であり、より良い教育活動を行うためには、施設の安全性・機能性の確保は不可欠であるため、老朽化対策及び安心・安全対策に関連した工事を計画的に実施することにより、教育環境の改善を図る。</p>					
	<p>事業の内容</p> <p>主な整備内容</p> <p>○小学校 防球ネット増設工事（福井小学校） 多目的教室改修工事（中筋小学校） 高圧受変電設備改修工事（明倫小学校） 避難器具(救助袋)更新工事（朝来・中筋・由良川小学校）</p> <p>○中学校 防球ネット増設工事（城北中学校） グラウンド用地測量・設計業務委託（城南中学校） 高圧受変電設備改修工事（加佐中学校） 他</p>					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	75,000	小学校債・中学校債			110
	その他	-				
一般財源		27,760				
担当課	教育総務	課	課長名	松岡 幸治	内線番号	2410

令和4年度 主な事務事業調

No. 131

事業名	学習系ネットワーク管理経費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校管理費
事業費	103,237 千円			予 算 書	230・234 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	「GIGAスクール構想」において、整備した1人1台端末や高速大容量の通信ネットワークを活用した質の高い授業を実践し、教育振興大綱に掲げる「自らの将来を切り拓き、力強く生き抜く子ども」の育成を図る。
事業の内容	<p>1. 質の高い授業の実施 教員がICTを効果的に活用した質の高い授業が実践できるよう、授業支援や指導等を行う支援員や指導員を配置し、教員の授業力の育成・向上を図る。</p> <p>○ICT支援員の配置 小中学校各校へ支援員がICTを活用した授業時における機器の操作や学習教材の作成等を支援</p> <p>○ICT活用指導力育成指導員の配置 教員のICTを活用した授業の質向上のため、アドバイザー等による指導や助言、研修等を実施</p> <p>2. GIGAスクールネットワーク保守管理業務 高速大容量通信ネットワーク回線・クラウド設置サーバ利用料、故障・障害等問合せ受付窓口等のネットワーク保守運用管理</p>

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	内訳	国支出金	80,929	地方創生推進交付金(1/2) 公立学校情報機器整備費補助金(1/2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(定額)
府支出金		-		
地方債		-		
その他		-		
一般財源		22,308		

担当課	学校教育課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	-------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 132

事業名	校舎等改修事業費（小学校）				
費目	款	教育費	項	小学校費	目 学校建設費
事業費	28,545 千円			予 算 書	232 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	次代を担う人材を育成する環境づくりの一環として、老朽化した学校施設の改修を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、学校生活の充実に必要な教育環境の整備を図る。			
	倉梯小学校校舎長寿命化改修工事にかかる分析・設計業務委託			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○建設年度 昭和34年3月・昭和35年3月・昭和56年3月 他 ○整備内容 構造体の劣化状況について調査を行い、建物全体の長寿命化のため、鉄筋の腐食対策やライフラインの更新等を実施 ○事業スケジュール 令和4年度 分析・設計業務 令和5・6年度 長寿命化改修工事 			
財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	28,500	小学校債	110
	その他	-		
	一般財源	45		
担当課	教育総務	課	課長名 松岡 幸治	内線番号 2410

事業名	歴史文化資産活用経費				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 社会教育総務費
事業費	8,014 千円			予 算 書	240 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	<p>赤れんがパークの玄関口となる文部科学省所管の赤れんが倉庫3棟について、「国指定重要文化財建造物舞鶴旧鎮守府倉庫施設保存活用計画」に基づき、公開活用に向け展示基本計画の策定を行う。</p>
事業の内容	<p>文科3棟については、赤れんがパーク全体の玄関口としての役割を担うほか、近代の歴史的遺産の見学の核となる展示施設とすることとして、令和3年度に展示の基本的な方向性や理念を「展示基本構想」として策定。</p> <p>令和4年度は、その構想に基づき、展示等活用計画の検討、施設運営方法の検討、概算事業費の算出などをまとめた基本計画を策定する。</p> <p>【参考 債務負担行為】</p> <p>○期間 令和3年度～4年度まで</p> <p>○限度額 8,000千円</p> <p>○令和3年度 展示基本構想策定</p> <p>○令和4年度 展示基本計画策定</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	88
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	5,514		

担当課	文化振興	課	課長名	木下 尚子	内線番号	1230
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 134

事業名	中総合会館整備事業費					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費
事業費	50,000 千円			予算書	242 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>災害時における自主避難所となる中公民館が設置されている中総合会館について、老朽化した自家発電設備の更新及び燃料備蓄タンクの増設等を行うことにより、大規模災害等によるライフライン途絶下においても避難所等として機能できるよう電源を確保し、災害対応能力の強化を図る。</p>
事業の内容	<p>○中総合会館設備更新実施設計業務委託 (自家発電設備・燃料備蓄タンク等)</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	50,000	社会教育債	110
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	地域づくり支援 資産マネジメント推進 課	課長名	飯田 徹 岩田 宏幸	内線 番号	1225 1361
-----	-------------------------	-----	---------------	----------	--------------

事業名	図書館基本計画策定経費					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費	7,852 千円			予 算 書	242 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	現在の本市図書館の課題や、現状では実行困難でも将来的には実行すべきと考えられることに焦点をあててまとめられた、「第1期舞鶴市図書館協議会意見書」を基に「舞鶴市図書館基本計画」を策定する。				
	事業の内容	図書館利用者の減少や施設の老朽化が進む中で、意見書等を踏まえ、個人や地域が抱える課題解決を支援できる機能を強化し、高齢者や子育て世代だけでなく、働く世代も含め幅広く市民に利用される図書館への転換等にあたり、直面する課題について、「舞鶴市図書館基本計画審議会」において協議・検討し、「舞鶴市図書館基本計画」を策定する。 ・図書館基本計画策定業務委託費 ・舞鶴市図書館基本計画審議会開催経費（5回） 【参考 債務負担行為】 ○期 間：令和3年度から4年度まで ○設定額：図書館基本計画策定経費 10,000千円			
財源内訳		区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	
	国 支 出 金	-			
	府 支 出 金	-			
	地 方 債	-			
	そ の 他	-			
	一 般 財 源	7,852			
担当課	図書館	課	課長名	平野 広道	外線 62- 番号 0190

事業名	体育施設整備事業費				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	32,637 千円			予算書	244 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>体育施設は全般的に老朽化が進んでおり、より多くの市民のスポーツ活動や大会開催等を促進し、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりを推進するため、安全・安心な施設の改修等を計画的に進めるとともに、機能の維持管理を図る。</p>
事業の内容	<p>【整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東舞鶴公園野球場 <ul style="list-style-type: none"> ・バックネット更新工事 既存バックネット撤去、新設 ・グラウンド整備工事 黒土補充、整地、フェールライン部分の芝生化 ○泉源寺多目的施設 <ul style="list-style-type: none"> ・芯材入りカーテン修繕工事

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	23,800	保健体育債	110
	その他	-		
	一般財源	8,837		

担当課	スポーツ振興課	課長名	神社 啓明	内線番号	1235
-----	---------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 137

事業名	赤れんがハーフマラソン開催経費				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	7,000 千円			予 算 書	244 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>スポーツイベントを通じた交流人口の拡大と地域活性化を図るため、第10回目（第8回大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、第9回大会はコロナ禍の中オンライン大会として開催）となる「舞鶴赤れんがハーフマラソン2022」を、十分な感染防止対策を図り開催する。</p>
事業の内容	<p>大会概要（予定） 【日時】 令和4年10月9日（日） 【会場】 赤れんがパーク周辺（スタート・ゴール）</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	700	きょうと地域連携交付金 (1/2)	88
	地方債	-		
	その他	5,600	雑入(独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金)	108
	一般財源	700		

担当課	スポーツ振興 課	課長名	神社 啓明	内線番号	1235
-----	----------	-----	-------	------	------

事業名	配水管整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	配水施設費
事業費	1,032,915千円のうち			予算書	6 頁	
	969,254 千円			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>1. 水道ビジョンに基づき、水道管の老朽化対策として将来の水需要予測を踏まえた適正口径へ見直し、耐震性のある水道管への取り替えを行い、安心して安全な水道水の安定供給に努める。</p> <p>2. 国道27号西舞鶴道路建設に伴い、支障となる送水管を移設する。</p>
-------	---

事業の内容	<p>1. 水道管路の耐震化、更新事業 工事延長：約6,600m 施工箇所：魚屋、上安、北吸、浜、田中町 他 口径：φ50～φ400 事業費：778,712千円</p> <p>2. 国道27号西舞鶴道路建設に伴う送水管移設事業 工事延長：約300m 施工箇所：国道27号 上安 地内 管種：水道用塗覆装鋼管 口径：φ800 事業実施期間：令和4年度～令和5年度[債務負担行為] 事業費：190,542千円 (全体事業費：350,000千円)</p>
-------	---

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	44,044	水道管路緊急改善事業補助金(1/3)	5
	府支出金	-		
	地方債	363,000	水道事業債	5
	その他	127,796	負担金	5
一般財源		434,414		

担当課	水道整備 課	課長名	田畑 敦郎	内線番号	2270
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	管渠整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠整備費
事業費	196,787千円のうち			予算書	26 頁	
	156,900 千円			事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	令和2年度に下水道整備事業が概成し、今後は下水道管路等の老朽化に伴う事故発生や、機能停止を未然に防ぐため、ストックマネジメント計画などに基づく点検・調査・修繕・改築を行い、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。				
	事業の内容	○公共下水道管路施設の改築（委託・工事） 工事延長：約100m 施工箇所：浜 地内他 口径：φ350 事業費：30,000千円			
○公共下水道管路施設の更新（委託・工事） 汚水ポンプ、マンホール蓋等の更新 施工箇所：引土、溝尻 地内他 事業費：126,900千円					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	30,000	社会資本整備総合交付金(1/2)	25	
	府支出金	-			
	地方債	126,900	下水道事業債	25	
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課	下水道整備 課	課長名	中地 俊元	内線番号	2220

事業名	処理場整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	処理場整備費
事業費	685,182千円のうち			予算書	26 頁	
	382,386 千円			事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>処理場施設の老朽化などによる機能停止を未然に防止するため、ストックマネジメント計画などに基づき計画的な点検・調査・修繕・改築を行い、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。</p>
事業の内容	<p>○公共下水道 浄化センター施設改築 【東浄化センター】 ① 汚泥処理設備改築 事業実施期間：令和2年度～令和4年度[債務負担行為] 事業費：80,090千円 (全体事業費：529,826千円) ② 監視制御設備改築 事業実施期間：令和2年度～令和4年度[債務負担行為] 事業費：182,296千円 (全体事業費：746,900千円) 【西浄化センター】 ・ 水処理設備改築 事業実施期間：令和3年度～令和5年度[債務負担行為] 事業費：120,000千円 (全体事業費：492,984千円)</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	210,311	社会資本整備総合交付金(5.5/10)	25
	府支出金	-		
	地方債	172,075	下水道事業債	25
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	下水道整備課	課長名	中地 俊元	内線番号	2220
-----	--------	-----	-------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 141

事業名	雨水処理事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	雨水処理費 固定資産購入費
事業費	749,785千円のうち			予算書	26 頁	
	706,710 千円			事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	市街地の浸水対策事業として、西市街地においては、京都府の高野川整備計画と連携した事業を促進し、東市街地においては、事業化に向けた実施設計を行い、安全・安心なまちづくりを推進する。			
事業の内容	<p>◆西地区浸水対策事業 686,710千円</p> <p>○ポンプ場整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静溪ポンプ場整備（土木・建築・機械・電気） 事業実施期間：令和3年度～令和5年度[債務負担行為] 556,900千円 (全体事業費：1,220,000千円) ・寺内ポンプ場整備（土木） 45,000千円 ・松陰ポンプ場整備（排水ポンプ施設） 51,000千円 ・大手ポンプ場整備（外溝工事） 4,390千円 ・逆流防止施設設置 24,420千円 ・設計業務等 5,000千円 <p>◆東地区浸水対策事業 20,000千円</p> <p>令和2年度に策定した雨水管理総合計画に基づき、浸水被害が多い区域の基本設計業務等を実施</p>			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	340,000	下水道防災事業費補助金(1/2) 社会資本整備総合交付金(1/2)	25
	府支出金	-		
	地方債	366,710	下水道事業債	25
	その他	-		
一般財源	-			

担当課	下水道整備 課	課長名	中地 俊元 岡野 恭憲 (浸水対策担当)	内線 番号	2220 2230
-----	---------	-----	----------------------------	----------	--------------

事業名	病院事業（収益的収支・資本的収支）			
費目	款		項	目
事業費	1,070,650 千円		予算書	41～45 頁
			事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>病院事業については、新型コロナウイルス感染症をはじめとするあらゆるリスクに対するリスクマネジメントの充実・強化を図りながら、求められる機能・役割を担い、引き続き地域医療に貢献していく。</p> <p>本院については、今後も急性期医療を担う市内公的3病院等と緊密に連携し、積極的に患者を受け入れることにより、地域・圏域における慢性期の医療ニーズに対応するとともに、地域抱括ケアというトータルな視点から、在宅医療を必要とする方が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう、在宅医療の充実を支援していく。</p> <p>また、加佐診療所については、地域唯一の医療機関として、地域に関わる関係機関との連携を深化させる中で、地域抱括ケアの推進に向け、地域におけるかかりつけ医としての機能を担っていく。</p>				
	事業の内容	<p>[事業費内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院事業 979,886千円 ・診療所 90,764千円 <p>[病院事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養病床 100床 ・入院患者 93.5人/日平均(見込み) ・入院収益 655,248千円 ・職員体制 93人 <p>[診療所事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科 内科・整形外科・その他(健診、予防接種等) ・外来患者 15.3人/日平均(見込み) ・医業収益 35,822千円(健診、予防接種等含む) ・職員体制 7人 			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-			
	府支出金	549		43・45	
	地方債	17,200	病院事業債	45	
	その他	225,000	市補助金(病院分 182,384千円)	43・45	
	一般財源	782,221			
担当課	市民病院総務課	課長名	阿部 葉子	外線番号	60-9020

事業名	国民健康保険事業		
費目	款	項	目
事業費	7,906,280 千円		予 算 書
			61~132 頁
			事業区分
			新規・拡大・ 継続

事業の目的

国民健康保険は「年齢構成が高く医療費水準が高い、所得水準が低く保険料負担が重い」など構造的な課題があるなか、今後も医療技術の進歩等による医療費の増加傾向が続くと見込まれ、財政運営は厳しい見通しである。

このような中、平成30年度からは、府が財政運営の責任主体となり、市と共同で事業運営を行っており、今後も共同で制度の安定化を推進する。

また、国の法改正に合わせ、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、令和4年度から未就学児の均等割保険料を5割減額する。

事業内容

【主な歳入】

- 保険料 1,278,038千円
 - (1) 医療分+支援分の1人当たり保険料 73,900円(前年度と同額)
 - (2) 介護分の1人当たり保険料 27,820円(前年度と同額)
- 府支出金 5,851,239千円
 - 保険給付費等
- 一般会計繰入金 660,518千円
 - 低所得者の割合等に応じた財政支援の保険者支援分など
- 国民健康保険事業基金繰入金 107,588千円
 - 保険料の負担軽減等

【主な歳出】

- 保険給付費 5,782,794千円
- 国民健康保険事業費納付金 1,876,050千円
 - 府内の保険給付費に充てるため、府が所得水準及び医療費水準に応じて各市町村ごとに算定
- 保健事業費 106,353千円

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	1	災害臨時特例補助金	-
	府 支 出 金	5,851,239	保険給付費等交付金	-
	地 方 債	-		
	そ の 他	771,680	一般会計繰入金 他	-
	一 般 財 源	1,283,360		

担当課	保険医療 課	課長名	樋口 誠	内線 番号	2160
-----	--------	-----	------	----------	------

事業名	特定健康診査事業費、特定保健指導事業費					
費目	款	保健事業費	項	特定健康診査等事業費	目	特定健康診査等事業費
事業費	72,182 千円			予算書	117	頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業目的	<p>内臓脂肪の蓄積に起因する生活習慣病の発症・重症化を予防するため特定健診を実施し、健診結果に応じて生活習慣病発症リスクの高い人に保健指導を実施している。</p> <p>各種施策により健診受診率や指導実施率の拡大を図ることで疾病予防、重症化予防等、医療費の適正化に取り組む。</p>
事業内容	<p>1. 特定健康診査【事業費62,793千円】</p> <p>○対象 40歳～74歳の国民健康保険加入者</p> <p>○内容 問診、診察、身体計測、検尿、血圧、心電図、血液検査を実施</p> <p>2. 特定保健指導【事業費3,224千円】</p> <p>○対象 特定健康診査の結果、腹囲又はBMIが一定の基準値を超え、血圧・脂質・血糖・喫煙習慣のリスクのある者</p> <p>リスクの程度により、動機づけ支援レベルと積極的支援レベルに階層化（よりリスクの高い方が積極的支援）</p> <p>重症化リスクの者には更に別途受診勧奨等実施</p> <p>○内容 3か月にわたり、保健師や管理栄養士が来所や訪問による個別面接・電話等により、対象者自身が立てた行動目標を目指し、生活習慣の改善に向け支援する。</p> <p>3. 特定健康診査等一般事務経費【経費6,165千円】</p>

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	-		
	府支出金	25,817	特定健康診査等負担金 特別調整交付金	75
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	46,365		

担当課	保険医療 健康づくり	課	課長名	樋口 誠 岸本 昭彦	内線 番号	2160 6200
-----	---------------	---	-----	---------------	----------	--------------

令和4年度 主な事務事業調

No. 145

事業名	市営駐車場施設整備事業費					
費目	款	事業費	項	事業費	目	施設管理費
事業費	29,000 千円			予算書	167 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>令和3年3月に策定した「舞鶴市駐車場事業経営戦略」に基づき七条海岸駐車場を再編し、借地解消により効率的な運営と経営改善を図る。</p>
事業の内容	<p>土木管理センター跡地と商工観光センター駐車場とを一体整備し、当地に七条海岸駐車場を移設する。 これにあわせて、借地である現七条海岸駐車場の敷地を国に返却する。</p> <p>○新七条海岸駐車場整備工事 ○現七条海岸駐車場返還用工事</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	7,000	駐車場事業債	165
	その他	22,000	駐車場基金繰入金	159
	一般財源	-		

担当課	土木課	課長名	東山直	内線番号	2350
-----	-----	-----	-----	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 146

事業名	介護保険事業				
費目	款		項		目
事業費	9,007,690 千円			予算書	173~268 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>介護を要する状態となっても、できる限り、自宅で自立した日常生活を営めるように、真に必要な介護サービスを総合的・一体的に提供するための介護保険制度を運営する。</p>
事業の内容	<p><保険事業勘定> 介護サービス等にかかる費用について「保険給付事業」を行うとともに、「地域支援事業」として、要支援者等の通所・訪問サービス等に係る「介護予防・生活支援サービス事業」を実施するほか、「一般介護予防事業」や「包括的支援事業」、「任意事業」を実施。 居宅・施設サービスの利用等にかかる費用については、所得に応じ9割～7割分を保険給付し、ケアプラン作成にかかる費用については、全額保険給付となる。 その他、国保連への審査支払手数料や高額介護サービス等にかかる費用等を計上。</p> <p><サービス事業勘定> 「介護サービス事業」として、市内に7ヶ所ある「地域包括支援センター」のうち、市が直営により運営する指定介護予防支援事業所1ヶ所において、介護予防支援を実施する。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,232,096	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	—
	府支出金	1,283,732	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	—
	地方債	—		
	その他	3,942,102	支払基金交付金、繰入金、諸収入 他	—
	一般財源	1,549,760		

担当課	高齢者支援 課	課長名	植和田 浩行	内線番号	2140
-----	---------	-----	--------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 147

事業名	地域支援事業費			
費目	款	地域支援事業費	項	目
事業費	514,554 千円		予 算 書	226～237 頁
			事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>地域支援事業では、被保険者が要介護・要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するためのサービスを提供することを目的として実施するもの。</p>
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護予防・生活支援サービス事業 要支援者等を対象に、訪問型・通所型サービスのほか軽易な家事援助や配食サービス等の生活支援等を実施。 2. 一般介護予防事業 地域の公民館や集会所など身近な場所での住民主体の運動や交流を促進し、住民同士のつながりを強化する介護予防を通じた地域づくりの推進。 3. 包括的支援事業 地域包括支援センター（市内7か所）の相談体制充実やリハビリ職など多職種協働による地域ケア会議の実施、認知症施策や生活支援体制の整備、在宅医療・介護の連携推進事業などにより、「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組む。 4. 任意事業 住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者の見守り体制の整備や家族介護支援のほか、介護給付費の適正化に取り組む。（配食サービス、緊急通報システムなど） 5. 地域包括支援センター運営費

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	180,346	地域支援事業交付金(20/100, 38.5/100)等	185
	府 支 出 金	75,354	地域支援事業交付金(12.5/100, 19.25/100)等	191
	地 方 債	-		
	そ の 他	182,370	地域支援事業市負担分(12.5/100, 19.25/100)等	-
	一 般 財 源	76,484		

担当課	高齢者支援 課	課長名	植和田 浩行	内線番号	2140
-----	---------	-----	--------	------	------

令和4年度 主な事務事業調

No. 148

事業名	後期高齢者医療事業			
費目	款	項	目	
事業費	1,471,650 千円		予算書	269~304 頁
			事業区分	新規・拡大・ 継続

75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度に係る経費で、医療費の給付や保険料賦課決定などの基幹事務は京都府後期高齢者医療広域連合で行い、市町村では窓口業務と保険料徴収を行う。

令和4年10月1日から、後期高齢者医療制度の被保険者の医療費の窓口負担割合について、従来の1割・3割負担に加え、2割負担が設定される予定である。

これは、令和4年以降、団塊の世代が75歳以上となり始め、医療費の増大が見込まれていくなかで、現役世代の負担を抑え国民皆保険を未来につないでいくために行われるもの。

なお、2割負担の設定にともない、令和4年度における保険証の一斉更新は、通常7月に加え10月の施行前にも再度一斉更新が行われる予定。

事業の内容	○後期高齢者医療広域連合納付金	1,429,799 千円
	・保険料等分	1,106,639 千円
	・保険基盤安定分	299,214 千円
	・事務費分	23,946 千円
○一般管理経費等	36,130 千円	
○徴収費	3,661 千円	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	365,010	繰入金ほか	-
	一般財源	1,106,640		

担当課	保険医療課	課長名	樋口 誠	内線番号	2160
-----	-------	-----	------	------	------